

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A1 2011	クリスマス研修会 ★ 1994.12.25	クリスマスは覚者方（白色同胞団）が総出で祝福を与える。 宇宙会議があり、地球上を救済する靈団と、反対に闇の軍団もある。 --- 祝福 --- こういう偉大なる光を地球上に放射することで、世の闇を防ぐ事ができる。一旦エネルギーを受けた細胞は記憶して敏感になる。	
A2	人間は何ぜ神か ★	人間は何ぜ神か？を追究しなければならない。 その答えを得たのは外からか、内からか。外から聞いた物は外観、外念にすぎない。内に求めて内から出た答えは絶対、永遠なるもの。 瞑想を通して内から答えを出していかねばならない。	A
A3	想念波動 ★	想念は実現の母、発した思いは4倍で跳ね返ってくる。 池の中心に石を投げると宇宙全体に広がり跳ね返るようなもの。 神には『我神なり』という完全想念しかない、悪想念はない。 あなたは「我人間なり」という悪想念を持っている。	A D
A4	神の自覚	全てが神だと学んだが、神だと思っている人はいない。自覚に至っていない。話を聞くだけで掘り出す努力をしなかったら宝の持ち腐れ。 常に内観、憶念して自覚を高めることが大切。	A
A5	生命とは何か 肉体とは何か	病院において死の体験、肉体離脱。→復活した。 何ぜ再び私が戻ってきたか？やり残した仕事がある。これをやり遂げてのみ天に還る必要性がある。体験者が語る言葉は力強い。	
A6	靈とは何か 物質とは何か	靈的体験、肉体離脱。私も体験者だから、こんなに厳しくはっきり言うことができる。靈的自分が物的自分を眺めている。 過去世を語る宗教、偽りの指導者に食い物にされないように。 宇宙語は共通する。一つしかないから。--- 祝福 ---	
A7	肉体を高分子化するには ★	高分子とは靈化された肉体、精妙体。靈粒子・靈分子のこと。 意識を高めると高分子化する。→『我大靈なり。』 粗雑な肉体細胞を細かくするには瞑想しかない。靈とは超微粒子。	A F K N
A8	原点に帰る	全ての原点は神。周期末に必ず最後の審判、ふるい分けがある。 人間が地水火風という天の恵みを穢した。その償いは天変地異。 今、邪心から本心へと、個人意識から普遍意識へと悔い改めよ！	M
A9	魂の解放	小さな器に自分という魂を閉じ込めている。自分という小さい器の我から生命を解き放った瞬間、大生命そのものとなる。 私、私の…というのがある限り、大海に浮いてる泡のようなもの。 泡・器が溶けて、大靈・大海に融合する。ただ素直が必要。	
A10	変性変溶の法則	物質性から靈性に変性すると、変溶が起こる。 靈とは光。靈的自覚ができると体は輝く。靈服を着ける。 白光だから白い衣装。靈服を着けてる者は婚靈に招かれる。 鎮魂とは肉我を鎮めることであり、神我を沈黙させることではない。	B N
A11	靈魂肉	靈は生命・神。魂は心・想念。肉は表現。三位一体。 心が神に向いてるのか、肉体に向いてるのか。中心は神・主。	C
A12	汝の密室にて祈れ	密室とは誰にも邪魔されない神我の世界・密教。秘密の教え。 この地上界は見聞きできる世界・雜念。 全ての者と和解して祈れ。神との一体感を実感して祈る、本心からの祈りは即実現する。電話治療の話。	A
A13	犠牲とは何か	犠牲とは奉仕であり、徳を積むこと。 イエスキリストは大犠牲を払われた。常に大愛と一体となって大きな光を全世界に放射・奉仕した。 奉仕とはあなたから出る愛の波動のこと。瞑想は無言の奉仕。 自我瞑想ではダメ、自我は災い。何かお手伝いないかは偽善。	M N O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A14	靈気とは何か ★	靈気も電気も氣（エネルギー）、靈気と電気は同じ。宇宙は電気。電波と靈波、周波数がある。電気は神をある程度具現化したもの。電子レンジは高周波数を出す、心霊治療も手から高周波数が出る。バイブレーションの高い人からポカポカと暖かみを感じる。	K J O
A15	言葉は波動 ★	言葉はパロメータ・波動。 悪い言葉は悪い波動、いい言葉はいい波動を出す。 まず始めに「神」という言葉があった。神という言葉は神という波動を出す。常に我神なりという想いと言葉を発することで、常に神の波動の中にとどまることができる。	D
A16	自力とは何か 他力とは何か ♦	自我は他力、受動的、得ることを喜ぶ。神我は自力、能動的、与えることを喜びとする。靈的に目覚めたら自力になる。 自力で立ち上がらねばならない。救い主はあなた自身。	
A17	空とは何か 色とは何か	空は原因、色はその結果。孫悟空とは、色は空の子孫ということ。 親鸞聖人は本では悟れないと解って念佛に入られた。 靈眼を開くとは自分が靈であると見ること。 正しく語るとは我は靈なりと語ること。	
A18	意識は智慧と力なり 何ぜ	肉体に智慧や力・心はない。意識そのものが全知全能。 肉体と命が同じものだと思ってるから、個人意識になる。 宇宙エネルギーが肉体に入った時、イルミネーションと言う。	J M N
A19	無限は天国 個人は地獄 何ぜ	個人・個人はなく、無限・無限があるだけ。 個人と思い、語り、生きるなら、身口意三つの罪を犯している。	
A20	カルマの法則	日常生活がカルマ。毎日が種まきと刈り取り。 ここで話を聞くのもカルマであり、偶然来た人はいない。 カルマには個人的カルマと、集団的・国としてのカルマがある。	M
A21	自分とは何か	人間は実在しない。あるように見えるけれど実際にはない。 人間を分析しても原子と電子しかない。 波動は測定できない。測れるなら有限。無限エネルギーは無限だから測れない。	
A22	直感とは何か	直感とは天啓・智慧、内から感じるもの。五感は知識、外から来るもの。五感が真実を見せないように邪魔している。 四六時中、神我を意識してればサタン（自我）に力を与えない。 外から来る外念と内から来る想念を混同しないように。	
A23	磁場 ★	地球は12極モーターのようなもの。宇宙は全てNSの磁界で出来ている。私達の体にも地球と同じように右と左、NとSがあり回転している。私達は地球という大きなモーターの中の小さなモーター。 磁場がいいとはNSのバランスが良いこと。	G J K
A24	自分を知る 自分を見る ★	自分が大靈であることは知ったが、まだそう見てはいない。 無知は克服したけれど、盲は克服していない。 自分を知る、自分を見る。その次に自己顕現がある。	A P
A25	生命の木	全ては一つの根源に繋がっている。 人類とは木の枝葉のようなもの、全て無限宇宙に繋がっている。 個人的（生命・力・知恵）はない。これが解れば自他一体。 そうなると、まずテレパシー能力が目覚める。 あなたが私を選んだのでなく、私があなたを選んだのである。 あなた方が勝手にここに来たのではない。	P

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A26	瞑想とは何か ★	瞑想が解らなければ瞑想にはならない。ただ目を瞑っていればいいというものではない。考え方は雑念。 瞑想を通さずに神我到達は不可能。瞑想は自分で見いだすもの。 完全な深い瞑想は"靈そのもの"という一体感。多くやればやるほど早く完成する。為さねば為さないほど時間がかかる。	A M O
A27	意識したところに自分は居る	意識が色々あるのではなく、意識の仕方が色々あるだけ。 本来は宇宙には普遍意識・神意識しかない。 見える世界と見えない世界、100%を意識すること。	
A28	後光とは何か	心が調和すると後光が差し、周囲を照らす。闇は入ってこない。 その光は調和の度合いで変わる。心が不調和になると闇が入る。 地球のオゾン層のように人間にも光の層がある。それがオーラ。 ヘブル語で聖書の「カイン」は物質、「アベル」は生命を象徴する。	N
A29	天国と地獄	卵に殻・白身・黄身とあるように、肉体と幽体の中に生命が宿る。 蓮の種にやすりをかけて、蓮の花が泥沼の中から芽を出すように、『我は血や肉ではない、生命なり』と言うと卵の殻から出てくる。 地獄とは物質肉体に閉じ込めていること。天国とは質料の妨げを受けないことを言う。今からは物質文明ではなく精神文明。	C K N
A30	生命は天 肉体は地 何ぜ	命に生きる人は天命を全うする。生命は気体、全一。 頑固者とは固体観念のこと。私の言うことが理解できないのはエネルギーが低いから、即ち知恵が低いから。※ヒーリングの実演。	
A31	魂とは何か	魂とは神の細胞、愛の細胞。ハートから愛が出来る。 心臓とは心の蔵（くら）、そこから神経が行き渡っている。 一個一個の細胞は共存共栄して、同胞関係。一つの細胞の影響は全体への影響。個人意識は未熟の魂、全体意識は天に上げられる。	E J
A32	原始細胞と肉体細胞の識別 ★	原始細胞は神を記憶し、始めなき終わりなきもの、魂とも言う。 原始細胞は全ての細胞に知恵と力を与えている。 肉体細胞は三ヶ月の寿命があり、新陳代謝で古い物は排出する。 肉体は原始細胞の働く場であり、働く道具。 肉体を神性である原始細胞にお預けすると、光・原子体となる。	E O P
A33	魂の進化 ★	魂とは器であり表現。鉱物→植物→動物→人間へと、表現が能動的に進化して行く。鉱物・植物・動物は群魂。人間は分魂、万物の靈長。群魂は体験したものを一つの器に持ち帰り成長していく。 宇宙大の器になったとき、個性は残るが器である魂はなくなる。無限になれば魂は存在できない。魂は進化するが本源本質は進化しない。	
A34	界面活性 ★	物は細かくなると表面積が増え、エネルギーが高くなる。 食べ物をよく噛むと界面活性する。衣類も細胞の数が細かいと頑丈、粗雑だと弱い。水をいかに界面活性するかが大切なポイント。 粗雑な分子を超微粒子にしてエネルギーを高くすることが、靈的進化であり生活の知恵。	F J L
A35	言葉 ★	言葉は神＝エネルギー。始めに言葉（神）ありき。 命そのものが言葉そのもの。宇宙そのものが言葉そのもの、宇宙語。言葉は命、靈言、神言、言靈、御言葉。 日本語でしか真理を表せない。	
A36	難行苦行 悟りにあらず	人間として生きること、自我での生活が難行苦行。 迷っていれば苦しみ、悲しみがある。悟れば喜びであり、仕事が楽しい、一日一日が楽しい生活。苦しみから解放される道は愛しかない。滝行・断食行はただの肉体行・いじめ。皆さんはもうじゅうぶんに苦しんできた。苦しみの後には大きい祝宴が待っている。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A37	忘れる	忘れるとは分離感。一番大事な『神』というものを忘れている。 忘れていては現れない。忘れないためには、四六時中思い続けること。ここから離れて行った人は外を意識している。 実際に求めているか、義務的か？本当に求めて聴いているのか？	
A38	天照大神とは何か ★	光の属性について。本来は白光しかない。 ※知花先生の靈的光の体験談。釈迦、内観について語る。	
A39	靈的思考と物的思考	靈的思考は心で考える、物的思考は頭で考える。 部分的なものの考え方は物的思考。総合的、全面的に靈的自覺をもつてものを判断しなければならない。 内側を強く意識してハートからものを考える、中心から考えること。	
A40	瞑想とは何か（同時通訳）★	瞑想とは自己放棄である。（Give Up） 個人的自分を感じなくなって、一つの大いなる存在を感じること。 自分を感じている限り、深い瞑想はできない。 沈黙の力とは、小さな自己を放棄して大靈と一体感に入って沈黙。 座って考えることを停止した状態。 －－－覇者方の祝福－－－	A
A41	神は人を通して語る	智慧の紫の光、お釈迦様の時代の話。 釈迦が仏陀になられた。4月8日は釈迦の誕生日。 2万6千年周期、一黄道帯。 12名の指導者が舞い戻っているが、4名は見当たらない。 智慧の仏陀、紫のエネルギーが降り注ぐ。 クリスマスは愛のエネルギー、黃金色。 アカシックレコード＝原始記録。	
A42	不動心	絶対に変化しない揺れ動かない心。それが不動心、不動明王。 神我、それは宇宙につしかねない神の心。 人から盛られた毒を喰ってはならない、心の毒が動搖心。 天照大神＝キリスト＝主。	A
A43	極楽浄土	お釈迦様、蓮の花の例え。極楽とは楽な極面、調和。地獄は不調和。 自我意識で生きると苦しみ。生きてる時に苦しい人は肉体に死んでも苦しい体験をする。 地上界の人間がみんな神我に目覚めたら極楽になる。	
A44	原点と接点は一体	生命は原点、肉体は接点。 原点と接点はセット。表面があるということは必ず裏がある。 愛は天と地の掛け橋。愛は天と地を掛け合わせている。 原点と接点を理解すると、眞の智慧が働く。	
A45	無限は天国 個人は地獄 何ぜ ★	今は天と地が逆さまになってる、ひっくり返さねばならない。 酸素は生かす力、形ある物は水素。人間は酸素と水素の化合物。 水分子とは水分子、そこに酸素が入って生きるものとなる。 酸素と水素で中性即ち愛。※電磁波・光君の説明	K G
A46	波動とは何か	波動とはエネルギー。心が波動を出す。心はエネルギーの増幅器。 心がビジョンを創る。心は創造原理。肉体は心の操り人形である。 心は宇宙につき。私が言っているのは当たり前のこと。	
A47 '2012	キリストとは何か 2005.12.23	～最後のクリスマス研修会～ 天皇とは天の白い王、キリスト、眞の自分。 人と人の間があると書いて、人間と言う。7回の7度赦すとは永遠の赦しを意味する。己に厳しくすることで人に寛容になれる。 私は皆さんの愛を見ている、それを祝福と言う。私に本質を見られた分だけ体に変化が起こる。眞我と自我のふるい分けは自分で行う。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A48 '2012	クリスマス研修会 ★ 1995.12.24	神我の誕生がキリストの誕生。 自我の誕生日は必要ない、年齢を数えると年を取る。 アダムとイブから、カイン（物質）とアベル（靈的なもの）が生まれた。アーベル説と移住説、どちらも正しい。 光分子と水分子が調和したものを水晶人間、イズラエルと言う。 微量要素、微粒子があなた。	A G H K
A49 '2012	全て神 何ぜ ★ 1993.12.25	原子と電子が創造原理。=神、神性、仮性。 原子顕微鏡で見たら原子と電子しかない。宇宙には神しかいない。 原子と電子が心の原盤・原板。水心、水の質料は心。原子は光。 肉体波動と神の波動が一体となると至福感・ハニヤーン。 今日聞いた話は魂・潜在意識にインプットされる。その記憶はまたいつか思い出す。中性子は白光、ホワイトイーグル、神の家、白い道。	
A50	生命と肉体の識別	肉体と生命は一体でありながら、完全に独立した存在。 肉体は生命の着けてる衣装。宇宙生命を自分と見て生きることが、正しく見ること、正しく生きること。 肉体が自分でなく、生命を自分と感じて生きねばならない。 ある日、忽然と悟ることは無い。何回もの努力が大切。	
A51	類は類を呼ぶ ★	気が合うとは波長が合う、同調する。 類似でグループを作る。気が合わなくなると分離、気が合うと寄ってくる。波長=エネルギー=意識。 去る者追わず、来る者拒まず。	
A52	天はエネルギー 地は物質 何ぜ	天下りとはエネルギーが物質を通して下る。宇宙エネルギーが神。 宗教戦争。現代宗教は個人的神を説く。神は力なりき。 物質で心は満たされない。欲望には底がない。物質に向かってる人は夜行列車に乗っている。バベルの塔はバブル経済のこと。 この世の財産はあなたの履いてる靴のようなもの、ほどほどに。	H K
A53	愛は無形無双の大気 何ぜ ★	愛には姿形がない。全き愛。愛のみを凝視するのが眞の瞑想。 話を聞いて多く刺激を受けた分進むが、外側を意識してる者は止まっている。話を聞くだけでなく『自分は大愛』だと言い聞かすこと。 愛は忽然と現れるのではない、忍耐が大切。	A O
A54	人間は実在しない 何ぜ (※ノイズあり)	実際にあるのは原子細胞と電子細胞。 人間は精子+卵子=細胞から成り立つ。 原子細胞（魂・陽子）と電子細胞（陰子）によってなれり。 原子細胞は光分子、光細胞。これが万軍（満群）の靈。 精霊達・微生物は遍満して満ち満ちている。群魂。 神は限りなき大きいもの、限りなき小さいもの。	E J
A55	健康と病気 ★	病気とは罪、不調和。神は健康、調和。 病気の原因は食べ物もあるが、一番は心。心の病が、肉体の病。 赤ちゃんは羊水の中でお母さんの精神状態、食べ物の影響を受けている。自然食を薦めるなら精神面も教えるべき、心身共に。 神に至る道は愛の道、一本道。	J
A56	人生の荒波	人生は、荒波の上の泡のようなものである。個我はいつかは消える泡、永遠ではない。泡に生きれば浮き沈みがあり、動搖心。 大靈という大海と一体になれば平安、安らぎ、不動心。 風が強いと泡は多く出るように、混乱期には人口が増える。 この世の中でどういう事が起こっても動搖しない心を養う。 ※知花先生の体験談。	O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A57	奉仕とは何か ★	神我は与える喜び、能動原理。自我は得る喜び、受動原理。 奉仕とは犠牲、損をすること。奉仕しないと徳は積めない、道徳。 徳は天の蔵に積め。与えよ、さらば与えられんの循環の法則。 イエス・キリストは大犠牲を払った。 無所得の奉仕とは与え切り、返礼を望まない。	
A58	靈体 幽体 肉体 三位一体	水蒸霊は実体、根源。幽体、肉体は現象我。現象の世界は二つある。 靈・幽・肉の境目は無い。この境目は心の障壁。 三位一体が理解できないのは、固定観念を持っているから。 究極神、究極は内側にある。	C N O
A59	肉体は感覚体 幽体は感情体 靈体は精心体 ★	肉体・幽体・靈体の説明。靈的知識として必要なもの。 肉体は物質体、物欲。我々の肉体は感覚体。痛いという感覚、悩みという感覚を持っている。肉体の中にエーテルという神経系統とつながるものがあり、それが感覚を持つ。幽体は感情体。その次に靈体という、精霊・精心世界がある。※イルミネーションの説明	C
A60	靈は光の自分 肉体は陰の自分 何ぜ	靈は陽性、光の王国。物質は陰性、陰の王国。 肉体=陰は、靈=光の操り人形。物質という陰を見て、靈という光を見失っている。明想とは光を見ること。 電極は陽極・陰極が同じ大きさになったとき、光と力が出る。 今は靈極が細くて、物質極が太い状態。 靈的体験とは光の体験。知花先生が6~7才の時に光の体験をした。 ※講話中、宇宙語・異言が語られる。---祝福---	
A61	大宇宙と小宇宙 ★	人間とは神の細胞。神に似せて人を創ったとは、全く同じ原子と電子で同じ本質を与えられた。中身は中性・愛。 宇宙の基本構造は中心に一つの原子核、周りに12の誘導電子。 キリストと12の弟子。宇宙の中心に靈太陽、太陽神。一柱の男が12の女を纏（まと）う。肉体にも中心核があり、その周りを電子が囲む。人格神ではなく、人核神。	E K
A62	雑念とは何か ★	人間の想念や頭で考えるのは雑念・外念。その反対は憶念。 瞑想中に外側のことを考えるのは自我瞑想・雑念瞑想。やればやるほど頭はおかしくなる。自己メッセージを作り出す。 神我に目覚めたいというのは希望。欲望は個人的、希望は非利己的。	A (A) N
A63	靈性進化 ★	どこに意識を向いているかで靈性の進化は決まる。神に向ける。 守護靈の存在を認めて意識を向けると指導を受けやすくなる。 神に向いたら仕事が出来ないか？なお一層発展する。 神界に意識を向けると、この世の本は不要になる。 ※知花先生の体験談。	(A)
A64	魂の光輝 イルミネーション	光の自覚に応じて器が光るものとなる。肉体は無明の質料。靈は光。 肉体が靈を受け入れたとき、光るものとなる。 質料が靈を拒むと全く光は出ない。肉を去った時に一寸先も見えない闇地獄を体験する。光を受け入れた者は全てが見える。 ※イルミネーションの説明。	
A65	神我の祈り 自我の祈り ★	あなたは今生こういう話を聞くと知っていた。必ず神我を実現すると意気込んで来たが、忘れている。こういう時期が来ると知っていて、それに合わせて生まれているが、まだまだ真剣味が無い。 神理には後から来た者、先から来た者はない。 次生まれる時に、こういう話を聴ける保証はどこにも無い。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A66	正しく見る ★	原点から物を見るべき。外観で物を捉えるから、正しく見ること・思うこと・語ること・生きること・定めに入ることができない。 愛の具現が神我顕現。 一元論の話を理解させるには、二元論の話をしてそれを放棄させねばならない。そこに大きな勘違い、言葉に躊躇している部分がある。	B
A67	全ては無限 何ぜ	無限を受け入れたときオーバーシャドウ、入神状態。 --- 瞑想 --- ※オーバーシャドウの講話、異言。	
A68	心の調和について	心の調和とは、神我と自我の天地一体感。精神統一。100%神意識。 天地逆さまに、見えないものより見える物に価値観を置いている。 本当の勇気とは自分を捨てた時に起こるもの。十字架は救済・救急を意味する。自分が天使であると自覚を持ってる人がいない。 21世紀後半から神から来たという意識を持った者が生まれてくる。	
A69	細胞 ★	私たちは元を正せば一つの原子。原子細胞は神の細胞。 細胞とは原子のこと。原子から分子が作られる。宇宙には無限の原子があり、原子が分子を生む。これを新陳代謝と言う。 本当の細胞は分子ではなく原子である。原子が神の似姿に創られている。微生物も菌も全部分子であり、その中に原子がある。	E J P
A70	右脳と左脳の働きについて ★	脳そのものに智慧があるのではない。脳は受信器であり送信機。 右脳は右巻き・放射 (+) 、左脳は左巻き・吸引 (-) 。 左脳が発達してゐる人は (-) 思考。知識を詰め込むと、左半分の頭が痛くなり、体が重くなる。吐き出しが行動と言葉で行う。 智慧の循環。入って来たものを即実行すると頭の回転が良くなる。 気の狂つた人は詰め込みだけをやって吐き出さない人、内気な人。	
A71	肉体存在の目的	見えないエネルギーである神を顕現するには、媒体が必要。 肉体は神我顕現の目的で創られているが、今は自己表現をしている。 鉱物・植物・動物は制限があるが神をそのまま表現している。 人間は自由意志により、自己顕示欲により自己表現をし、鉱物・植物・動物よりも低くなってしまった。	
A72	意識の高め方	意識はエネルギー。想念波動 = 意識 = エネルギー。 個人意識はエネルギーの束縛、個人意識は存在していない。 もともと普遍意識、宇宙意識（宇宙エネルギー）しかない。 知花先生の問い合わせに答えるのはいいこと。細胞を動かし、記憶になる。	
A73	実在とは何か	実在とは実際に在るもの。実在とは真理。 肉の目に映るもので実在はない。全て影・幻。 肉体は破壊しても靈は永遠であり、死は存在しない。 私が深い意識になると私は皆さんの中におります。いつも心の次元で指導しています。皆さんは常に保護されて、守護されています。	
A74	悟りとは神の愛を受け 愛を与える能力 ★	宇宙のエネルギーを受けて、与える能力が悟り。 意識の高さがエネルギーの高さ。智慧はエネルギーに順応して働く。 肉体はバッテリーのようなもの、チャージしないと弱る。常に宇宙エネルギーと一体化することでトランス状態・チャージ器になる。 そのとき周囲を高めて進化させることができる。この世のバッテリーも、まず (-) 極が弱る。 (-) 極の肉体が弱ることが老化現象。	N
A75	生命は万物の親	生命が全てを創り、全ての中に宿っている。 創られた子が親を愛さない、放蕩息子になっている。親子の仲直りが縦の愛、神との絆。横の愛は、隣人愛。十字架の中心が心。 供養とは生命が供え養うこと。生命 = 天照大神が先祖、万物は子孫。	N

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A76	空は実相世界 色は仮想世界 何ぜ	大往生とは固体が大気に帰ること。 自分は大気なのに、固体と思い込んでいただけ。 色は空から離れて存在できない。 『我は空なり』と言える自分を確立して頂きたい。 天に上がる、地に落ちるとはバイブルーションのこと。	N
A77	ミクロとマクロ ★	ミクロは見えない、マクロは見える。ミクロとマクロは同じ分子。 ただ引っ付き合って様々な形を現しているだけ。 宇宙には陰子・陽子しかない。それが様々な分子構造を創っている。 物はどこまでも細かく小さくなるが破壊できない。不滅。	F K O
A78	健康について ★	食物をよく噛むのは界面活性である。 働く必要性について。動くとバイブルーションが起こる。 怠け者は血液が動かないからコレステロールがたまる。 空気の汚い所でジョギングすると通常の30倍も煤煙ゴミを吸う。 養生は海辺か山辺の空気がいい酸素の多い所で行う。 ※知花先生の体験談	G J O
A79	原始細胞と肉体細胞	肉細胞は父母の精子・卵子から出来る、肉意識。 原始細胞は（魂）、神意識。中性子、神の実子。 肉体細胞は原始細胞の器にすぎないが、それを自分と思っている。 肉細胞はマクロ、原始細胞はミクロ。	E J
A80	心とは何か	心を知らないなら、自分を知らない。心=靈=意識。 本来の心は御心・絶対善。不動心、中心（ハートセンター）。 水心=原子細胞と電子細胞。 心はコントロールセンター、シャンバラ。心を知るとエーテルの世界に入る。御心は一つの心。バランスは心でとる。	J
A81	魂とは何か	魂は心、一つしかない。宇宙には息は一つ、全てが一息子。 寛大な魂とは『神之心』。心臓とは、神の心の蔵（くら）。 心の乱れが息の乱れで、肉体細胞が乱れる。 皆さん的心臓は陰に偏り、左寄り。神と繋がると右寄りになる。 神が着座するハート・神殿に悪を住まわせてはならない。	
A82	神理の実践	神理の実践とは神理に生きること。 この体は自我人間の道具ではない、愛の表現の為にある。 神我に捧げて、使って頂くこと。 これは神の摂理か？考えること自体が束縛。摂理そのものなら考える、詮索する必要はない。考えれば考えるほど闇が降りてくる。	J O
A83	天とは何か	天を知らなければ天に帰れない、天とは生命。 宇宙そのものが生命体。 話はしたが、やるかどうかはあなた次第。ただ素直に「我人間なり」を、『我生命なり』にチャンネルを変えるだけ。 肉体を天に持ち帰る人とは宇宙バイブルーションにまで上げられた人。これを即身成仏と言う。	
A84	中心とは何か ★	中心とは神・愛・原点。一点でありながら無限、全てが見渡せる。 天はN、地はS、中間が中性。十の中心はゼロ地点、空。 靈幽肉の中心が神。頭足左右を結ぶと十字架、その中心が神。 ピラミッドには見える所△と、見えない所▼がある。 中心が一番エネルギーが高い。	K P

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A85	井の中の蛙 大海を知らず	自我意識は大靈を知らない、普遍的自分を自縛している。 井の中の蛙とは皆さんのこと。肉我に閉じ込めている。 唯一不二の神性エネルギーがあるだけ。 エネルギーの表現は身・口・意、三つある。これを正しなさい。	O
A86	輪廻とは何か	色々な人種を体験して人種差別がなくなる。 輪廻は個人意識にのみある、普遍意識になればこの世に生まれない。 輪廻転生は偽物の話し。 実相を見た途端、肉体は消える。見える物の彼方がベールの彼方。 あなたがあなたを許さない限り、解放しない限り、昇天しない。	
A87	愛とは何か	愛は無限エネルギーと質料の調和。相調和してなければ物は存在できない。あなたは愛そのもの。人間は自己破壊をしている。 人間の愛は眞の愛ではない。神の愛は不变不動。 全てに神が示される時が来るだろうと、それを示す使命を持った一人一人が皆さんです。	
A88	三途の川とは何か	三途の川とは肉体・幽体・靈体のこと。固体・液体・気体は同じもの。三つの次元があるのでない、一元世界。 ここを一挙に通過することができる。これが三途の川を渡る。 お荷物という固体観念があると溺れる。 肉を持っている時に、自分の原点は靈だと自覺することで靈に帰る。	C
A89	波動の高め方 ★	物は全て波動（バイブレーション）を持っている。 身・口・意から全て波動が出る。『我神なり』は最高の波動。 無意識にも四六時中『神』と思うと、神の磁場になる。 多く想うと、早く実現する。 ここで話を聞いてる時は強制的に瞑想してるようなもの、神の波動の中にいる。波動を高めると体は軽くなる。	
A90	一心集注とは何か	一つの心は不動心。神の心。一つ目。 人間の心は本物ではないから揺れ動く。本心と偽心の、二心。 神の心臓と自分の心臓を一体ならしめて鼓動させしめなさい。 そのとき、神のバイブルーションが起こります。	O
A91 '2013	因果の法則	原因が神なら、結果も神。 始めから神、容認するだけ。認めると正動・生動する。 神に似せて創られてると言うのは姿形が似てるという意味ではなく、一切の知恵・力・無限エネルギーそのものということ。	
A92 '2013	体験と実験 ★	人生は全て体験・実験・学び。この世の惡は肥料、それを通して学んでいく。どう対処するかのテスト、赦しと愛を実践する。 全て前進あるのみ、後退はない。少しずつ進歩している。輪廻を繰り返し色々なものを体験して、智慧者となり卒業していく。	
A93 '2013	キリストの誕生日 ★ 1993.12.24	何ぜキリストの誕生日は世界中で祝うのか？ イエスの誕生日ではなく、神我の誕生日。 もし地球に宗教があるなら、愛の宗教。 愛のキリスト、慈悲の仏陀は同じもの。 正見・正思・正語。キリスト神我に栄光あれ！ ハイバイブルーションを出すためには、ハイビジョンが大切。	K
A94	完成を高めるには	完成=完全。完成とは愛を高めること。愛深い人とは完成が高い人。 不調和は未完成。愛が全ての生みの親、原因。 靈（+極）と肉体（-極）のバランスが取れたとき中性・愛。 今は肉に偏りアンバランス。世の中が不調和になると病気は増える。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A95	愛は実在 人間は非実在 何ぜ（誘導瞑想）	靈エネルギーと質料が人間をこの世に映し出している。 存在の本源は愛。愛がなぜ光なのか？靈という+極、物質という一極のバランスが取れたとき光が出るし、力が出る。 愛という言葉を発したときは外部を清める、思ったときは内部を清める。言葉は力なりき。	
A96	視野の拡大について ★	視野が狭いとは、個人という一部を見て全体を見失っている。 大宇宙そのものが本当の自分。心臓と人間は一体。 宇宙全体を総計してやうのを神と言う。 その一つ一つ構成されたものを神々と言う。 物は全て集合体、共存共栄してやる。視野が狭いから欲望が起る。	B P
A97	精心とは何か	何ぜか？と答えをどんどん出していかねばならない。 心は靈、神。説明ができない、知るしかない、悟るしかない。 心が一心集中できているなら、絶対善の心。 人類は未だ善悪の心を持っている。心の教育が大切。 本当のことを言うのに何ゼビクビクするのか。	
A98	カルマの克服 ♦	真理を知らないでカルマの克服は不可能。 結婚するのも、清里に来るのも、偶然でなくカルマの結果。 カルマの大聖というカルマを管理している偉大な魂の方がいる。	
A99	肉体を靈化するには	本来は物体は無い。全ては靈体。勝手に物体と名付けてやる。 肉体だと思っていると靈化されない。 1日も早く外念から解放するべき。それが奴隸解放。	
A100	潜在能力とは何か ♦	潜在能力とは普遍的知恵と力。 表面意識 + 潜在意識 = 100%の完全意識が神意識。 全一体感になったときに全力が出る。 智慧は宇宙に遍満している、脳は送受信のアンテナ。 目、耳、鼻、脳、全て（左-・右+）の循環の法則。 必要なときに必要なものを受け使う、これが潜在能力の開発。	
A101	羊飼いと子羊	神我は羊飼い、肉体は子羊。羊飼いの声を聞くとは、神我の声を聞くこと。素直に聞けば不自由することはない。 復活祭には神我に目覚められた方々、大師方の会合がある。 自問自答すること、これが本当の祈り。	
A102	縦の愛と横の愛 ★	神との調和が縦の愛、創られたもの同士の愛が横の愛。 縦の愛ができなければ、横の愛もできない。 十字架は真の愛の完成、縦横の愛の完成を意味している。 ※真理を真剣に求める熟した段階のグループのみを白色同胞団は指導する。個人には働かない。	
A103	宇宙法則 ♦	外部の自然界に意識が向いて、完全に自然法則に支配されている。 宇宙との分離感を持っているから宇宙法則が働く、使えない。 自らの力が無い誘導電子のようになっている。 一体感になったとき、宇宙法則そのものになる。	B
A104	空は実在 色は非実在（誘導瞑想）	実際にあるのは見えないもの、空。色は始めから実在していないから無くなる。波動を上げるには空を意識せねばならない。 固体と思っていれば固体波動。固体観念がある限り、気化しない。 空になると無量重（無量寿）、エネルギーには重さが無い。	
A105	細胞とは何か	細胞とは細かい包み。細胞=微生物。細胞の中にも細胞がある。 我々は無限大に大きく、無限大に小さい。 大宇宙で行われていることは体内でも行われている。 全ては一心同体、一つの体の出来事。宇宙は一つの同胞関係。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A106	空は実在界 色は仮相界（誘導瞑想）	空は蘇生型・建設型。色は崩壊型。空は久遠常在の無量寿。 －思考が無くなつて＋思考になつたとき、法の華が咲く。 ⇒『南無妙法蓮華経』。 指導靈は皆さんのオーラを通して指導する。オーラが輝けば指導しやすくなる。	
A107	神には内外はない 何ぜ	西洋人は外・外的面を磨く、東洋人は内・内的面を磨く。 ランプの”ホヤ”の様に内・外を両方磨かないと光らない。 火の洗霊と水の洗霊、同時にい光る者となる。（※講話と商品） 精神と物質は同時に進まねばならない、一方だけはアンバランス。	
A108	空と色の識別 ★	酸素の通る器官、貯蔵庫を神經と言う。 体内の微生物はその酸素を吸って生きている。酸素無しでいかなる物も生きられない。全ての微生物が酸素を必要としている。 皆さんと空気・水・土は無関係では無い、全て共存している。 宇宙全体は全て微生物の世界。 今、空気・水・土を汚染して、微生物を殺している。	G
A109	想念は実現の母 ★	何ぜ母なのか？物質的な物の現れだから。母なる大地。 想念は念、思い、祈り、波動、ものを具現する。それが自分の運命を決める。想念は原因、具現は結果。 神には一思考が無い、神は完全思念。神という一番大切な想念を忘れている。四六時中、神という想念を持てば神が現れる。	D J
A110	全き愛	無限大のエネルギーと無限大の質料の愛でもって万物は存在している。愛は人間の語るものではない。 ビジョン化して見ないと、形の物差しで見ることはできない。愛そのものになって神を見なければならぬ。	
A111	大覚者とは何か	自分が大きいものであるということに目覚めた者。 外観で物を捉えないこと。私に実際に会うと何だ普通じゃないかと。 背が低く、足が短く、色が黒く、どんな姿だろうと？。逆に講話テーマを聞いて好男子で背がスラ～として想像する者もいる。 瞬間移動をできないことが珍しい、奇跡。	
A112	生命に年齢はない	形に年齢があるのであって、生命に年齢はない。 全ては同じ生命によって生かされている。あなたは創られた者であり創り主でもあるが、創られた者の側面しか見ていない。 今日生まれてきた赤ちゃんの生命と、お年寄りの生命は同じ年齢。 この植物（植木鉢）を見ても、新しく出てきた葉っぱも、古い葉っぱも、同じ生命によって生かされている。	
A113	開花とは何か	靈花を開くこと。開花とは神我。蓮の花の例え。 泥沼という肉（闇）の世界、水という幽界を克服して、天（光）の世界へと開花する。硬い蓮の種はヤヌリで削らないと開花しないので、今ここで削っているようなもの。※知花先生の名前の意味。	
A114	運命とは何か	人間の我（が）で運を変えることはできない、運とは命。 肉体は生命の乗り馬、乗る車（マイカー）。命という運転手に完全にボディを委ねたとき、運命そのもの、命そのものとなる。 命が主、運転手は一人しかいない。	
A115	誕生とは何か 死とは何か	大靈が肉体衣装を纏（まと）うと誕生、脱ぐと死。衣装を纏っても纏わなくても大靈。肉体衣装に振り回され、靈的自覺ができるないから死を怖がる。始めもあり終わりもあるのは、見えるもの。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A116 '2014	クリスマス研修会 イエスキリスト ★ 1988.12.24	雪は音を吸収するので、雑念・雑音は清まってくる。 人の念には重さがある。鈍重なら低地に、精妙なら軽いから上に。 真珠は浅い所には無い。まだまだ皆さんは岩の上に撒かれた種。 私にとっては皆さんは新しい顔ではない。現象の友、来るべきにして 来ている。——イエスキリストの降臨——	M
A117 '2014	愛は天と地の掛橋	愛は全てを癒す。不調和のときに我々の肉体バランスは崩れる。 全て愛でもって存在している。見えるものも愛、見えないものも愛。 世の中が不調和になればなるほど病気は多くなる。	
A118	目覚めた魂と眠れる魂	今皆さんは眠っている、人生は夢。起きている時は眠った状態。 覚めた魂とは常に靈意識・普遍意識にある。瞑想中は覚めた状態。 瞑想は本来の意識状態に帰る為のもの。靈的話を聴いてる時は靈夢。	
A119	科学と化学の識別	科学は天理、化学は物理。化学は変化するが科学は変化しない。 姿形が無い空。生命は永遠に変化しない、質料が変化する。 指導者には宇宙アバター、地球アバターが居る。	
A120	無我とは何か	自分は無い。見たり聴いたりして思っている自分は実在していない。 自分がある限り、悩み苦しまねばならない。 実際にあるのはエネルギーと質料。認識し実感するだけ。	
A121	背後靈とは何か	背後は靈、表は人間。 見えるものの背後には必ず見えないものがある。ものは全て二極で存 在している。中和されているから中性で存在している。 罪は愛してはいけない。子供が悪いことをしていたら注意する。	O
A122	生命は本物の自分 肉体は偽物の自分 ★	生命と肉体が一体であるがゆえに、肉体は生き働いている。 生きていると生かされないとでは大きな違い。 知識は悟りでは無い。 実際に一回靈的体験をすると、再びその味は忘れない。 食べた者は再び後に戻ることは無い。実際の真理は体験・実感。	
A123	吾神なりの自覚 ★	真理に素直であれ。実感ができているならば体験している。素直とは 素に直接、無限生命に繋がること。自我の世界には素直は無い。 本当に神に対して素直か？思い当る節があつたらそのまま投げ出す。 時間がかかるか、かかるないはその人次第。素直次第。	
A124	神性とは何か	神性とは神我、愛。宇宙には+（原子）と-（電子）が遍満してい る。+のバランスで光が出るし、力が出る。中性そのものが愛。 原子と電子の中性子で、放射線を放つ。 神性を東洋では仏陀、西洋ではキリストと言った。	
A125	遺伝子とは何か ★	アダム=DNA・+・精子（原子） イヴ=RNA・-・卵子（電子） まず始めに神ありき、その神が男と女を作る。 + - の結合でコピーされていく。 ピラミッドは人類の象徴的なもの。 元を正せば神の遺伝子。 	H K
A126	直感人間と五感人間	直感は神我、五感は自我。 五感に沈黙を守らせたときに直感は起こるもの。沢山、書物を読めば 読むほど、知恵が出にくくなる。知識を組み合わせてインスピレー ションだと思う人がいるが、それは自己メッセージ。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A127	光明と無明（誘導瞑想）★	本来は光一元だが、肉体と靈の分離感で無明界を打ち立てている。無明の肉体が靈を受け入れると光るものとなる。光そのものになって真の奉仕、お清めができる。生かされてることが解らないから、一点の感謝もない。感謝がないということは光の放射がない。 ここに集う皆さんから光が出たらドームができる。火柱が立つ。	A M P
A128	実在と非実在の識別	見えるものがあるというのは目の錯覚。見えるものが実在ならば永遠であるはず。三猿の言葉。見ざる言わざる聞かざるとは我々のこと。正しく見ない言わない聞かない。学校教育について。	
A129	個人は実在しない 何ぜ	理解力が大切、知ることが大切。 自分が何であるのか？その何ぜ、何ぜが答えを出す。 最大の敵は自分。誤ったものの見方、考え方との戦い。 瞑想とは答えを生み出すこと、汲み出すこと。	B O
A130	靈と物質（祝福）	物質とは靈質。本来、靈しか存在しないが二元論を作ってしまった。靈が形をとった状態に肉体という名前を付けただけ。 靈から語る、靈意識で語るのは御言葉。我々は宇宙の中の宇宙人。	
A131	高級我とは何か 低級我とは何か	人間は二重面相。肉体（低級）、生命（高級）二つの側面がある。 どちらに生きるかで決まる。本来は低級我はない。 人間は鉱物・植物・動物を進化させる役目を持っている。	D
A132	生命は空 肉体は色	智慧も力も見えない空、生命に属するもの。人間だと思う、見る、言うことをやめない限り、人間という制約を受ける。 本物のあなたは空。空を凝視し続けなさい。皆さんの努力いかんによっては早めに完成される。	
A133	分子とは何か ★	鉱物・植物・動物、全て神の分子・分靈。 進化した物は分子の数が多い。一つの十一の核が細胞分裂しても、同じ物、同じになる。無限供給。見える物は分子が粗雑な状態。肉体を靈化するには、科学作用をある程度認識しておく。 靈化された肉体は精妙な分子。農薬を使ったキュウリは細胞が粗い。ミクロンの世界に入ると見えない、靈化とは進化。	F H J L P
A134	病気にならない方法 ★	神様は病気を創ってない。病気を治す方法ではなく、病気にならない方法を知る。食生活で酸・アルカリのバランスを崩すと病気になる。今は農薬で酸性に偏っている。酸・アルカリのバランスをとること。農薬は強酸、食べると病気になる。カルシウムが人類を救う。	I J O
A135	宇宙エネルギーとは何か（食のバランス）◆★	宇宙は電気。電は電子-で、気は原子+。 神はフリーエネルギー。靈（+）と物質（-）、エネルギー（+）と質料（-）。エネルギーが発生する為には必ず2極必要。1極単体ではエネルギーは出ない。 物質という陰極に偏ることで、病気・苦しみを生み出している。	I J L
A136	人間とは何か	神の自覚ができないのは、神が何であるか理解していないから。 神は中性、父にして母。『靈と水によって生まれたことを知った者のみが、神の国を見るのである。』 神と繋がっていれば、この世で学ぶものは無い。	N
A137	生命エネルギー	食べ物を食べているのか？エネルギーを食べているのか？ 外部の食事は有機物を纏（まと）ったエネルギー、ゴミがついているようなもの。悟ったらエネルギー体、食生活も睡眠も不要となる。 為すも為さないも理解力。理解力が悟り。	
A138	全てはエネルギーと質料	私達はエネルギーでもあり、質料でもある。単性でなく中性。 不調和を起こしているときは化学変化が起こる。 こういう話を聞けるのは日本のどこにも無い。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A139	普遍意識とは何か ★	意識は満ち満ちている。宇宙に意識の存在しないところはない。 全ては一つの息で共存している。この世に存在している形、音、色、皆エネルギーの表現。 ※日本の文字や米ドル（\$）は覚者が作った。	J
A140	人間は生きていない 何ぜ	生命は宇宙に一つしかない、一息。あなたが吸っているのも、鉱物・植物・動物が吸っているのも同じ息。それが一息、一息子。 納得したとは、あなたの細胞が納得したということ。頷く（うなずく）だけでも大きな刺激。本気でなければ、本気のものを得られない。	
A141 '2015	クリスマス研修会 神の国は靈と水の国 (祝福) ★ 1989.12.26	神は水そのもの、水が汚れると万物が汚れる。 我々の体に水が浸透しているとは、神が浸透していること。 ヨハネ（水の洗礼、陰、死の象徴） イエス（火の洗礼、陽、永遠の象徴）	H
A142 '2015	真実（祝福）	皆さんのがび声を聞いた神が、知花（先生）をお送りになった。 生命の自分に気づきなさい、内側に求めなさい。 あなたも真実を知って、世の人々に真実を語れるようになる。 --- 祝福 ---	
A143	天は男性原理 地は女性原理	天と地が一つになって愛。 ここで天啓を受けているが、それを理解していないだけ。天啓を受けているから解ったような気になる。ここから一歩離れると解らなくなる。何ぜか？はっきりとした自分の理解ができていないから。 毎日、天啓を受けて刺激され得をしている。	
A144	靈と物質は同一の物 何ぜ（誘導瞑想）	物質とは形をとった靈、物質即靈。 物質が存在していると思って、制約を受けている。 默想して目を閉じて下さい。形あるもの形なきもの全てが靈であるということを見てください。そこには無限の拡がりしかないはずです。妨げる物はないですね。それが大靈との融合・結合です。	A
A145	自己開放 ★	自分があると他人がある。自分があると思っている限り、自我。 自分があっては開放できない。 あなたが考えている、感じているあなたは実在していない。何ぜか？ 知識ではなく、その答えを掴んでなければならない。自我が強いとは外念が強い。その者は決して外皮をぶち破ることは無い。	
A146	神性汝の内に有り	神性は不滅であり、全て神性。我々は神性そのもの。愛の世界に他人はいない、憎しみや怒りはない。 神性そのものであると自覚だけが必要。形を自分だと思うか、神性を自分だと思うかだけの違い。もうここまで来た、後は歩むだけ。	
A147	神理は汝の内に有り 何ぜ	ミクロ（弥勒）の時代に乗り掛かっている、それに乗って下さい。 一、二年で完成して欲しい。気は高い所から低い所へ、バッテリーは新しい物から古い物に流れる。 何ぜ皆さん理解できるか？意識の準備が出来ているから。聴き慣れている内にバイブルーションが高まって理解できるようになる。	D
A148	空の自分と色の自分	空は永遠の自分。妖精とは微生物のこと、靈的軍団。 植物は地下から水を汲み上げて、大気に噴霧して返還するポンプの役目をしている。木をどんどん切り倒すと、雨が正常に降らなくなる。 1本の木で何トンもの地下水を汲み上げている。循環の法則。 ※脳間の働きについて。※気耕栽培について。	G
A149	意識はエネルギー	宇宙意識は自分が宇宙であるという想い。意識は一つ。 個人という想いは個人意識。想い = 意識 = 生命。 超能力者は意識を皆さんより信じて、うまく使っているだけ。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A150	意識は波動 (バイブルーション)	波動を高める = 意識を高める。 あなたが高まると周囲に幸い（祝福）をもたらす。 一人の影響は全体への影響、一つの意識で共存共栄している。 人間の意識が低い今は、地球の末期。	K
A151	意識は波動	低い者は低い者同士、高い者は高い者同士、波長が合う。 波長は善悪に働く。自分の中にトランスがある、上げるか下げるかのチャンネル (volumen) を持っている。 振動によって細胞が変化する。セラミックは界面活性されている。	F
A152	バランスを取る方法 ★	生命は酸素。息が切れるとは酸素が切れる。 溶存酸素が多いと生命力が強い。酸素と水素、これを火水（かみ）と呼ぶ。これが結合して形の世界は存在する。 酸素と水素は至る所に在します。= 神は至る所に在します。	F G I L
A153	人間と食生活について	物でなくて、物の持っているエネルギーを食べることでチャージしている。エネルギーは身・口・意で消耗する。 宇宙エネルギーと一体となつていれば、エネルギーに満たされて空腹感がない。本来は、無限大の生命エネルギーを食すべき。 食糧危機はエネルギー危機。物を食べているのは、生命でなく肉我。	L N
A154	宇宙食と自然食	自然食は質料的な食物、肉体を育てる。 宇宙食はエネルギー、魂を育てる。 物理学者は真理学者でなければならない。 真理と物理、二つは不可分。	K L
A155	真我と偽我の識別	宇宙が自分だという境地になっているか？実感しているか？ 知識だけでは何もならない。そうなった体験が無ければ何にもならない。この世の惡は魂の肥料。	
A156	心の波形について	アルファ波は直流型で (—) 神の波長、不動心。 ベータ波は交流型で (~~~) 落ちたり上がったり波があり動搖心。 ガンマ波はパルス型で (www) 破壊的、悲しみも強く喜びも強い。パルス型は両極端な心、感情的。心の波形と電気的波形は一つ。 太陽光線は直流型。体にいいのは直流。	K
A157	生命と人間	実在しているのは人間ではなく生命。 外念でしか捉えないから理解に苦しむ。肉で見ている物の本質は全て生命。五感の目に頼るから本質が見えない。 靈性でものを考えている人ならば本源本質でものを捉える。 小麦粉があるのか？パンがあるのか？小麦粉も様々な現れ方をしているが、パン、クッキー、…全て小麦粉の現れ。	B
A158	気体とは何か 液体とは何か 固体とは何か	気体は無重力・無量寿の世界。 全ては空から派生して空に帰る、液体も固体も死の世界。 あなたは気体・無重力にならないと三途の川を渡れない。 固体観念がお荷物。 本当のあなたは、空気、靈気、天気、元気、大空、大気。	C
A159	死は存在しない	靈的あなたは永久運動。 肉体を否定して靈を肯定することで、肉から解放される。 肉が生きて働くと想うから疲れる。 働いているのは靈・生命エネルギー。	
A160	全ては無限 何ぜ 個人は存在しない	無限の中に個人は存在しない。想いを個人というチャンネルから、無限というチャンネルに変えるだけ。 言いたいことは一つ、全てが神であり、全て無限であること。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A161	魂と肉体は一体	魂があり、幽体、肉体という2つの衣装を着けている。 肉体は卵子、魂は精子（神精）。人間という卵の中に魂が宿っている。人間のオーラを見ると卵型になっている。 生きているのは魂だと理解せねばならない。	
A162	人間は何ぜ病気になるか	病気とは不調和の結果。 調和とは靈肉の一体感、靈的自覺。靈肉のバランスが取れていなかつたら愛ではない。愛がなければ愛することができない。	J
A163	靈体×自然体＝肉体 ◆	物質＝エネルギー×質料。神は宇宙科学。 自覺に順応して知恵と力は現れてくる。 左巻き＝吸引 右巻き＝放射 善循環は、『与えよ、さらば与えられん。』 悪循環は、『得ることだけで与えていない。』	K
A164	内観とは何か 外観とは何か	本質を見ることが内観、エネルギーと質料を見ることが外観。 ここで話を聞くことは内観しているようなもの。自我でやる瞑想以上のもの。本当に内観ができたとき、人・肉体・個人は存在しない、無限あるのみ。	
A165 '2016	普遍意識とは何か ★	今からなるでもない、修行して徐々に大きくなるのでもない。 普遍になろうは否定。始めから普遍意識と認める素直さが大切。 皆さんは悟りに波長を合わすべき？迷いに波長を合わすべき？	(A)
A166 '2016	気体は天 固体は地 何ぜ（誘導瞑想）	液体も固体も大気の中に存在して、大気は液体と固体の中に存在している。この世を去った人と別々の世界に住んでるわけではない、一つのものの中に存在している。 私の話はあくまでもヒント、鶴呑みにしてはならない。 自覺は誰が作るのか？	
A167 '2016	無限は天国 個人は地獄 何ぜ（誘導瞑想）	個人はもともと無い、あると錯覚している。 個人は無限の現れにしかすぎない。 無限は計り知れない、見渡せない限り、認めるしかない。未だかつて集団で悟ったことはない。今までに無い事が起ころうとしている。	
A168	神は絶対実在	全ての形体は、無限の生命、無限の質料から成り立っている。 様々な形を見て実在すると思い、形に目が眩んで実体を忘れている。 実在には過去・未来が無い。始めから神であった。 過去も神、今も神、未来永劫に神。	
A169	靈は光の自分 肉は闇の自分 何ぜ (誘導瞑想)	物質を見るのは闇思慮、靈を見るのは光明思慮。肉という闇を見てはならない。靈は宇宙に一つ、その光が万象万物に宿っている。 物質性から靈性に変化したとき変容する。これをイルミネーション、イニシエーションと言う。それは靈的自覺に応じて段階がある。	
A170	自己解放とは何か	形を見て、形の中に自分を閉じ込めている。 大靈を自分という外念、觀念に閉じ込めている。 自分に対しての理解力、神に対しての理解力でもって解放せねばならない。他力本願ではない。	M
A171	空は高バイブレーション 色は低バイブレーション（誘導瞑想）	固体觀念がある限り、バイブレーションは上がらない。 宇宙生命とは宇宙バイブレーション。 バイブレーションを上げるには空だという想いを起こすこと。	A N
A172	根源神と神々について	形を取っても取らなくても、全て神。 形を取った状態を神々、形を取っていない根源なるものを『根源神』と言う。形取るのは、普遍的神を現さんが為。 道の出来ているうちに、光のあるうちに歩むべき。	M

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A173	病気とは何か	病気は精神的理由、物理的理由の二通りある。 病気とはエネルギー欠乏、エネルギーが低くなると酸化が進む。 今は『何を食い、何を飲まんと思い煩うなかれ』とは言えない。	J K L
A174	人間と細胞は一体	細胞とは人、人とは細胞。 我々は宇宙細胞、宇宙であり即細胞である。 あなたが宇宙に目覚めたなら、細胞も宇宙に目覚める。 全体を己として見るべき。※人体図の説明。（細胞即人） 形から見れば小我・個我、生命から見れば大我・普遍我。	P
A175	原因と結果は一体	この世は結果だと知っているなら、原因を必ず知っている。 命が何であるか知っていたら、自分を知っている。全てが生命である という答えしかない。あなたそのものが原因結果の法則。 言葉は悟りのバロメータ、迷っている人の言葉には力が無い。	
A176	無限は悟り 個人は迷い 何ぜ（誘導瞑想）	個人と見るから迷う。天国とは無限意識。宇宙と想うことは無限意 識。これ以上の真理は皆さんは稀にしか聞けない、道は示すから歩み なさい。依存心を捨てなさい。自問自答すること。	
A177	父と子は一体	創り主と（内）と創られた物（外）は一体。 肉体ではなく生命が先。生命は先生、先に生まれたものと書く。 先にあったもの、始めからあったもの、キリスト（神我）が先生。	
A178	意識は波動	意識は波動のバロメーター、想念。 想っている通りのものしか出せない。意識を変えない限り、運命は変 わらない。肉体は心に絶対服従。	
A179	神我は空なり 自我は色なり	靈の世界は失うものがない。見える物に執着してはならない。 真剣に色と空を、意識の世界ではっきり識別しなくてはならない。 靈的事実をもっともっと追求して頂きたい。 どんなに仕事を真面目にしても、天に帰らなければ何もならない。	
A180	生命のみが独存す 何ぜ	生命の我は至る所に存在している。 あなたが生命ならば、全ての中に存在している。形を見るから、個々 という限定した所に存在しているように思っているだけ。	
A181	真実と現実の識別	現実は想念の結果。心が映し出している幻影の世界。 この世は心の影。皆さんの想念は、内側でなく外側から得たもの。	D
A182	神我は神 自我は人間 ★	人間もあって神もあるのではない、人間と神は一体。 苦しい人間が死んだら、喜びに変わることは無い。この世で苦しむ者 は、あの世でも苦しい。意識は不滅、どこまでも付きまとう。	O
A183	靈	靈とはエネルギーの自分。 こういった話は何千年に一回、何万年に一回、なかなか聞けるもので は無い。今この時を大切にせねばならない。 生半可ではいけない、真剣に自己追求すること。	
A184	遺伝子 ★	細胞一つ一つは記憶体、遺伝とは記憶のコピー。本来は完全遺伝子、 完全な方が創ったなら細胞は完全でなくてはならない。 肉親から肉の遺伝子を受け継いでいるが、肉体波動の遺伝子に負けて はならない。神の波動で克服すること。	E P
A185	靈とは何か ★	大靈を見ることを靈的ビジョン、靈視と言う。 相対的にものを見ているから、二つ目になる。 靈の次元でものを見たら、全て我。その一つの中に時空間はない。	B P
A186	人間は生きていない 何ぜ（誘導瞑想）	生きているのは大靈のみ。 生きていると、生かされているは大きな違い。 肉意識、自我意識など無い。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A187	生命は普遍我 肉体は小我 ★	無機物＝エネルギー、有機物＝質料。 無限大に細かいエーテルで物は出来ている。 進化すると物は界面活性して、無機物が多くなり、有機物が少なくなっていく。物には%（パーセンテージ）割合がある。	H N P
A188	病気と元気 ★	気とはエネルギー。寝ている時はエネルギーの補給、気休め。 心身共にリラックスしている時のみ、大気のエネルギーと一体、神との一体を得る。瞑想とは完全リラックス状態。	J L
A189	疑問	疑問とは知らないこと。知ってしまえば疑問は解ける、常識になる。 全て神と知った時、安心立命。 全てが神であることの常識、常にあるもの。非常識は常ならぬもの。神に対しての疑問が全て解けたとき、穢れがなくなる。	
A190 '2017	本質は天 形体は地何ぜ ★	内に7つの意識階層がある、内に入って行くほど精妙になる。 靈性進化は限りなく続く、今生せめて第三イルミネーションまで受け てもらいたい。今は一番外側に居る、個人意識は最低の意識。 形を見て、外側を見ていたら、階層に入っていない。 今、個人的な泣き事を言っている場合ではない、地球全体がどうなるかの時代。	
A191 '2017	神我は不死遠生（祝福）★	※沖縄での最後の講話。——祝福—— 皆さんは我先にと靈的な目覚めの時期を選んで、この世に生まれて來ました。真の我を忘れないで下さい。約束を思い出して下さい。 残された時間はありません。私の目を見つめてください。	M
A192 '2017	キリストを信じる者は救われる（誘導瞑想）	信ずるとは知ること、理解すること。キリストを知る者は救われる。 神を深く理解することが深い信仰。キリスト＝生命。 アカシックレコードは記憶の世界。神我を受け入れた時に見える。 植物も伸びる時期と停滞する時期がある。皆さんの信仰も同じこと。	
A193	最後の審判	自我人間と神我人間のふるい分け。 最後の審判が大丈夫だと自信が持てるよう努力せねばならない。 できるだけ真我のものを見て、真我で考えて、真我で生活する。 神我に目覚めて始めて『守護神』となる。	M
A194	鉱物、植物、動物、人間は 全て愛 何ぜ	実際にあるのは形体でなく『愛』。真実が見えずに幻を見ている。 現象界の彼方、ベールの彼方に真実がある。 自我で、観念では神を理解できない。自分を捨てること。	
A195	水晶人間とは何か ★	イズラエル人、光と水のバランス。生命の光は七色、虹色。 これをエルランティ、7つの光線、7大天使、7つの天門とも言う。 7つの天門（チャクラ）は生命を受け入れた時に開かれる。 水晶人間となるには、肉体と生命が調和したとき輝くものとなる。 天皇とは天の白い王。大嘗祭は復活祭。大乗・大成祭と書く。	
A196	生命は無形無双のエネルギー	見える物は見えないエネルギーによって生かされている。 人間は生かされているもの、生きてはいない。 靈性の進化に三段階ある。 1. 物質志向の段階。 2. 物質だけでなく靈的なものも欲して、書物等を読む段階。 3. 見える物・物質に対して興味がなくなり、靈的なものに興味のある段階。これは魂が熟している。	
A197	悪とは何か	悪とは無知。真理を知らないことが罪であり悪。 神我の世界には善惡が無い、神は絶対善。真理を知らないで、いくら良い人間になろうと努力しても虚しい努力。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A198	罪とは何か	自分があるから苦しみ、罪を作る。 真理を知ることによって罪は消える。 本来は怖いものは無い、愛しかない。 怖いものが無くなるのは、内観ができたとき。	
A199	空とは何か 色とは何か（誘導瞑想）	本当にそう思っているか、知識的に思っているのか、それで決まり。 知識は悟りにあらず。あなたは本来、何も考える必要はない。 観念、外念から得るものは何もない。	
A200	個人は存在しない 何ぜ	個人の中に全体なるものが宿っている。 理解力に乏しいから、神の智慧と力を受け継いでない。上辺の心で信じているから現れない。私から聞いているのは知識、知識は智慧を掘り起こすシャベルのようなもの。知識は五感、智慧は直感。 ※私達の体は科学工場、常温の元素転換が行われている。	
A201	靈視 ★	靈視能力は二通り。自我人間で靈視能力がある人は、途中下車をして停滞している。神我到達は絶対不可能。 『天の音楽』は何兆という原盤がある。この世の音楽は雑音。 神が音樂家であり、科学者、芸術家である。バイブルーションをどこからキャッチするかは意識状態で変わる。	N
A202	地縛靈	この世を本物だと思い、執着している者。 物欲が強烈に働くのは、この世の物を本物だと思っているから。 平将門は物欲・所有欲が強くて地縛靈となった。いまだにうろついている。色欲・物欲の強い人は自縛となる。	
A203	常識と非常識の識別	神我は常にある意識・『常識』。自我は常ならぬ意識・『非常識』。 見える物の考え方は非常識。 無明のあなたが光を受け入れることで、闇の原子が光の原子へと変性変容を遂げる。	
A204	自分を知った時 自分は消える ★	始めから自我はない、始めから生命。 自分を感じたり、見たりしたら自我。 直接神我から、己自ら、内から來るものが本物。 神我の自分と自我の自分、二人の自分を認めようとしている。 直知=自らがそれを実感する、掴む。 内から出るものしか答えではない。自己追求はあなたを成長させる。	
A205	心靈とは何か	心は神・意識・宇宙に一つしかない。 本来悪い心は無い、心の使い方を知っていないだけ。全体が一つと解れば悪は存在しない。靈媒、魔のカーブについて。	
A206	生と死の実体	皆さんは2回死ななければならない。肉体の死と幽体の死、二つの着物を着けている。寝ている時は小さな死、幽界をうろついてる。 我々には肉体頭脳・幽体頭脳・靈體頭脳がある。アンテカラナという細い線・記憶体があり、太い人は夢をよく覚えている。	
A207	空とは何か 色とは何か ★	空から色を見るべき。神眼を開くとは上から下を見ること。 まず本物の自分を肯定せねばならない。 肉我で祈るのは波動が低いから成就しない。真心から祈れ。	B
A208	不死不滅の魂	肉体衣装、幽体衣装、二つを脱いで解脱。肉体も幽体も結果体。 魂には生老病死の四苦が無い。 除夜の鐘はオームの波動と同じ、地球の浄化となる。 吾神なり=正想念。この言葉は高バイブルーション。	C

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A209	靈性の開発	靈的自覚には忍耐と努力が必要、物的存在から靈的存在であると。 普遍的なものを見るることは内観であり瞑想。 真実が見えるように、ここで毎日、目の治療を受けている。 口から入る物は肉を育てて、魂の成長は真理を食わねばならない。 真理の理解に基づいて皆さんの魂は成長する。 最終的に断食、無理に食べないのでなく食物を必要としなくなる。	L
A210	生命は一つにして多身 何ぜ	一つの生命が無数の形を表現している。普遍意識状態になったら、生命なる我が肉なる我を見ることができる。	
A211	生命は唯一の救い主 ★	生命を知ることのみが唯一の救い。 今まで自分と思っていた自分がいる限り、本物の自分は現れない。 全ては我、そう思えて、そう見えない限り、正しくものを見てない。 自分・自我を無くすには本物の我を持って来るしかない。無我。 自分を知った時のみ人々を愛する事ができる。	
A212	神は何ぜ完全か ★	中性であるが故に完全、+ - の法則。全ては電気的現象、宇宙は電気。人間は陰陽のバランスを崩した無法者。 心が調和されているときはエネルギーが高い。不調和なときはエネルギーの低下。	H I K
A213	命は神 ★	神との会話の場は内にある。受容性とは、話の、言葉の理解力。 真理に対して話し合うこと、論じ合うことは瞑想以上のもの。 小さなグループでもかまわない、それは非常に重要。話し合うことができる人がいるなら、靈性の進化はどんどん向上する。 ここで話を聞いている時は瞑想状態。	A
A214	神は万象万物の管理者	神なくしては何も存在できない。 宇宙には一つの心臓しかない。 心臓=振動（鼓動）、バイブレーション。 生命が生命を生む、神が神を生む。 管理者が神であると知らぬが故、恐怖、苦しみを持つ。	D
A215 '2018	生命は万物の造り主 ★	今まで自分だと思っていたものを放棄しなくてはならないが、大事に抱えている。 自我でこの世を去ったら、一寸先も見えない真っ暗闇を体験せねばならない。もうその時は近い。	B M
A216 '2018	靈的自覚 ★ 1992.12.22	本物の自分は大靈だと大宣言しなくてはならない。 今まで悟るまでは輪廻転生があったが、今生は悟らなければ消滅、大変な苦しみが待っている。※急け者の女とランプの例え。	M
A217 '2018	吾即宇宙エネルギー ★ 1991.12.25	日本人は白が好き。白を分類すると七色、一つに統合すると白。本当の色は全て白色。7つのチャクラのバランスが取れると白色となる。 知識では絵に描いたばた餅、実感せねばならない。 足りないのは食べることだけ。体験が足りない、浅い。 知識でなく、実感せねばならない。一度食べた味は忘れない。	
A218 '2018	空とは何か 色とは何か	息は一切を生かす力、照らす力。息はエネルギー、空。 死ぬ我に生きるか、死なない我に生きるか、これは大変な問題。 生半可に考えてはならない、真剣勝負。	O
A219 '2018	自己完成とは何か	完成とは終わりに成る、自己完成とは自己放棄。 自分という形体に終わりを告げ、神我の自分が始まる。 偽物の我が落ちる、落成、完成。 あなたの言っている私は無い。五感があなたを幽閉している。 あなたに対しての理解力があなたを救う。	M

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A220	神我は潜在意識 自我は表面意識 何ぜ	本質を意識していることを潜在意識と言う。 自我意識の克服とは、自我が無いことを悟ること。 無限を認めたとき、個人はない。	P
A221	献身とは何か ★	献身は外念の世界ではなく、憶念の世界にある。 神を認めなければ神は働きようがない。 上辺の心は肉の心、すぐ忘れる。真心からそう思ったら消えることはない。心の次元か頭の次元か。頭の次元は耳から耳に抜けるが、心は抜ける所がない。一つしかないから。	
A222	靈は神我 肉は偽我 何ぜ	精妙体も粗雑体も靈の衣装。肉体はどんなに努力しても大靈になれない。肉体は物を見ない、匂いを嗅がない。肉体自らは無。 この宇宙に後退する物は一物もない、常に前進あるのみ。進歩したと思わなくとも確実に進歩している。※植物の成長と同じ。	A J
A223	靈体・幽体・肉体 三位一体	三世が一つになって重なりあって、三つで一つの状態を三次元。 靈一元の世界が原点。三世に跨って生きるとは三位一体を理解すること。靈道が開かれると寝ても覚めても意識が同通している。 ※守護靈が夢でカルマの刈り取りを行うことがある。	C
A224	愛の法則	宇宙法則は愛の法則、愛は真理。陰陽のバランスそのものが調和、愛、美、光、力そのもの。バランスが取れているから神は完全。 自分が大愛だと知るなら全てを知ることになる。 大愛にあなたの愛、私の愛は無い、区切られた愛はない。	M
A225	空はエネルギー 色は物質 何ぜ ★	空は真空エネルギー、活性酸素、息、大気。 見えない分子同士を結合しているのは、空、酸素。 私が言っているのは、『純粹酸素』のこと。	G H
A226	無限と個人は不可分	復活祭。復活とは実在の我に帰ること。 無限に帰るのに特別なことは必要ない。今即無限。 連續的祈りとは常に無限の状態のこと。皆さんは持続性が無い。	
A227	復活とは何か	真の生まれ変わり。 心が清いと神が見える、スマッグの無い静寂な心=不動心。 肉の目は動搖しているから、ものが見えない。	
A228	神我は調和 自我は不調和	真理を知っている者は自我は存在しない。 分離感があると利己的・自己中心になり、欲望が出てくる。 『我神なり』最高の言葉であり、最高の悟り。	
A229	生命とは何か	実感するものであります説明ができない。例えから本物を感じていく。 自他を克服するには生命を理解せねばならない。 徹底して追求していくべき。	
A230	自分を知らぬは最大の罪	自我だから罪を犯す。自我は無知、罪。皆さんは、まだ自分というものの自覚がない。何を己として言っているのか。 肉でものを見ない、考えない、生活してはならない。	
A231	靈道とは何か	神に至る道。我は道なり、その道とは宇宙エネルギーの道。 「肉体では無い、人間では無い、形では無い」と否定すべき。 認めてる限り、変性変容は絶対に無い。	L
A232	自分とは何か 答えは汝の内にあり 何ぜ	自分とは何か、答えは内にあるのか？外にあるのか？ 神という答えしかない。自分が何であるか答えを出していない。 自分が何か追求していくと神に到達する。	
A233	忍耐 ★	神我を求める忍耐。常に神を意識する。寝ても覚めても四六時中、神を意識する。忍耐のある者だけが招かれる。 瞑想が嫌いな人は今生は無理、求め方が生半可だから。 イエスでさえも神の表現は20～30%。10%でも出来たら偉大な魂。	A

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A234	人類救済	神我に目覚めさせることが真の救済。自我では救済できない。 自分が救われた暁には神を世に示さねばならない。 キリストの伝導を行う。	B
A235	原点と接点の識別	物には必ず原点と接点がある。原点は一つしかない。今どちらを見て いるか、どちらに興味を持っているのか識別せねばならない。 どんな迫害を受けてもイエスは最後まで絶対愛を押し通した。 ヨハネは牢獄で首を切られて死んだ。 イエスや私を呼べば意識の世界から指導する。	B
A236	人間は生きていない 何ぜ	生きているのは生命。靈は一つ、靈に迷いはない。 真のあなたは物質の次元にいない、靈界に存在している。 人間では無いと捨てない限り、靈に目覚めない。	B J
A237	個人は迷い 無限は悟り 何ぜ ★	長い間の「人間・個人」の先入観がある。それを捨てるのに躊躇して いる。個人を捨てない限り、無限を掴めない。 個人と思っていたら、変性していないなら変容は起こらない。 自分は『無限だ』と、自問自答して答えを出さねばならない。 これを直知=直接知る。	
A238	聖靈とは何か	聖靈が下るとは如来、靈道が開かれること。 認めていない受け入れてないのは聖靈を汚している。 受け入れることが一番大切。神との一体感、これが真理。 + - のバランスをとれば0ゼロ。色と空を足せば1、色心不二。 $1+1=1$ にしかならない。	
A239	本質は内的自分 形は外的自分 何ぜ (誘導瞑想)	皆さんは人間という思いを捨てるのに躊躇している。実際に無いものを捨てるのに考える必要もない、早く自己放棄をするべき。 共存共生の法則とは、愛の法則。	A N
A240	宇宙とは何か	自分は宇宙そのもの。口先だけでなく想いが起こらなければ波動は出 ない。人間という想いから宇宙という想いに変えるだけ。	J
A241	罪	犯した罪が1なら報いは3倍、必ず利子がつく。負債とはカルマ。 罪とは自我のこと。罪が無かったらこの世に生まれて来ない。 この地上界は罪人の集団。監獄。	
A242 '2019	靈魂とは何か	靈が形を取ったら靈魂、人間の形をとった大靈。 見える世界は浮世、靈が形をとった世界。幻影だから現象界。 本物の誕生日は一回しかない。 偶然にここに来ているわけではない、招かれない人がここに来ること はない。転換期とはあなた自身のこと。	
A243 '2019	催眠術とは何か	我々は自己催眠の世界に存在して、自分で自己催眠をかけている。 知花（先生）ができるなら私もできるという強い信念を持って貰いた い。――誘導催眠―― ※中性水の説明。	
A244 '2019	生命は光 肉体は闇 何ぜ	生命の光を自我隠れして、肉体に閉じ込めている。 力の命（真理の理解力）で岩戸を開く、心の扉を開く。 智慧・力・言葉・意識に姿形はない。無形無双の空、色は媒体。	B O
A245 '2019	進化論について ★	進化とは進んで化けること。視野の拡大、意識の拡大。 理解の出来た分の所にしか住めない。 進化論には二つある。アーマバー説と移住説、どちらも正しい。 無限宇宙を悟られた方を宇宙アバター、宇宙大使と言う。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A246	靈太陽とは何か ★	宇宙には中心太陽・靈太陽があり、一つの光が全宇宙を照らしている。靈太陽は原光、魂は分光。 靈的光を受け入れたとき、光のシャワー・火の洗靈を受ける。 法灯明=中心太陽・大靈。自灯明=分靈。 如来とは天下り。その時、無言の奉仕を行う。	M P
A247	神我即聖靈	聖靈が下るとは神我が現れたこと。 神は礼拝するものではなく現すもの。 肉体は聖靈によって造られた聖靈の住家、働く焦点。聖靈が管理している、恐怖感を持つ必要はない。あなた自らは何も成し得ない。	
A248	宇宙人とは何か	宇宙と人とは同じもの、悟ると『自分は宇宙』と言う。 生命は全て共有、智慧も力も意識も一つ。宇宙意識を所有物にしてはいけない、皆の物を個人的に盗もうとしている。 共有であれば無限を得る。	
A249	神我と自我の識別	この空というミクロのことを究極、色のことを消極と言う。 自我が解らなければ克服できない、神我が解らなければ顯現できない。人間、個人という思いは雑念。	B G O
A250	真我と自我の関係	真我と自我を理解しないと関係は解らない。真我とは生命、神我。 自我とは偽我、肉体。文字を書くなら意味を理解せねばならない。 過去において私の話を聴いた者がここに賛同している。 ---祝福--- 宗教は輪廻を説きすぎている。過去世病、異言。	B
A251	魂と肉体の関係	蚕と繭は一体でありながら別。 自分は繭（肉体）でなく、蚕（魂）だと目覚めた時に繭から出てくる。今人間は肉体が生きていると思っている。 魂が何であるか、肉体が何であるか識別のできてない人は昇天することはない。魂は自由を望んでいる。 肉体・幽体は魂の衣装・乗り船。運転手と自動車の関係。	
A252	何ぜ神は大調和か	神には中途半端が無い、調和であり愛であるから完全。 宇宙の法則とは愛、正法。法を犯さなくなる、罪を犯さなくなるとは、愛そのものであること。愛の反対は不調和、無法、罪。 真理の実践とは愛そのものに生きること。	
A253	生命は天 肉体は地 何ぜ（誘導瞑想） ★	生命を徹底して意識、追及する。 内観して無限に一心集中すればする程、内なる無限が活発化する。 細胞が目覚めるのであって、形が目覚めるのではない。	P
A254	光は天 影は地 ★	光は真理、創造の原理。 光は宇宙に一つ、唯一不二の光、全世界を照らす光。 原因追求とは光の追求。光と闇の識別を徹底的にすべき。 光の勢力が立ち上がったとき、闇の勢力も立ち上がる。 光と影の識別は知った、行うのは自分しかない。 影の自分と光の自分との戦い。	
A255	空は久遠 色は無常 何ぜ	人間という雑念、外念を放棄しない限り、眞の空を得られない。 あなたが空に超越したら仮想の影響は受けない。 空・真理は、言葉や文字では言い表せない。例えでしか説明できない、理解するしかない。 どんなにいい事と思っても、あなたの考へでいい事は一つもない。自我でいい事は考えられない。	M O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A256	真我は宇宙☆	宇宙そのものなら全てはあなたのの中にある。小さな自分で大きい自分は入らない、意識を宇宙大にまで拡大しないと神は居らない。 神は無限供給、あなたの器の大きさによって与えられる。 器を拡げる=魂を拡げる。真理に対しての理解能力がなくては神のものを自分のものとはできない、精々が自己満足。 イエスの衣には縫い目がないのは象徴的、宇宙には国境がない。	
A257	愛眼とは何か 肉眼とは何か	愛そのものが真理。形という仮相を見ていては愛を受け継ぐことはできない。愛眼でものを見るには本質を自分だと思うこと。 愛の自覚に応じて愛の力は出て来る。外に向ける時間を削ってでも、本物である愛を見つめる時間が必要。 瞑想が苦しいとは、まだまだ熟成が足りない。	
A258	憶念 ★	憶念とは神我意識状態。我々は人間もあるけれど神もある、そこにワンクッション置いている。 万象万物は始めから神、それを容認するか受け入れるかだけ。 神では無いと思っている心を放棄するだけ。 神が神を探すから絶対に見つからない。これは最高の悟り。	N
A259	空は男性原理 色は女性原理（誘導瞑想）	プラナ呼吸法とは、エネルギー（生気）を吸収する呼吸法。 靈と氣は同じ物。天（空・陽）はエネルギー、地（色・陰）は物質。 陰陽のバランスが取れたとき、力が出る、光が出る。 神はなぜ完全なのか？愛なるが故に完全。イエス・キリストの愛のオーバーシャドー。愛のエネルギーは永久運動、空飛ぶ円盤。	N O
A260	生命	生命とは何か？生命とは全て。生命とはエネルギー、力、光。 掌に境目が無いように、あなたの命と肉体に境目はない、切り離せない。空の世界にも空気として存在している。形の中にも生気として存在している。エネルギーの存在しない所はない。 全て生命、全てが一つ。命の追究、命知らず。 神我は一度も迷ったことがない。間違ってることは教えてあげる。	
A261	神我は天 自我は地	自分は肉体では無いという思いが肉体離脱。 自己放棄を体験すれば、自在の自分を体験する。神我という信仰を持っていたら、見るもの、聞くものに振り回されない。	
A262	無我とは何か	自分が無い、神のみが独存する。 人と神とは違うと思うから、人の心も神の心もあるという分離感が起ころる。同じものだと見たら一体感。 欲とは分離感から起ころるもの。悟りとは理解能力・受容性。 このような話は稀にしか聞けない。天に帰る、帰らないは理解次第。	B
A263	無知とは何か	無知が何であるか知っていれば、無知ではない。 生老病死は外念の中に存在している。 神を完全に見失った状態を無知、理解することを悟りと言う。 結婚や離婚など、人間社会で男女で行われていることが肉体細胞でも行われている。	E G
A264	外なる闇は内なる光には勝てなかった	神性火花は、瞑想・内観を通して刺激すればするほど、意識すればするほど燃え盛る。それを『油注ぎ』と言う。 自分という自我があるから、いくら話を聞いても、その者はもう埒が明かない。話を聞いても聞いて聞かず。現実は自我に生きている。 心は一つ、一つの心にならねばならない。	O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A265	時間空間は存在しない	永遠ということは時間がない。無限ということは空間がない。 時空間・距離を感じていたら、肉意識。真我・実在には、永遠の中には時空間がない。それをはっきり認知してなければならない。 まだまだ、あなた/私という距離感を感じるなら空間を感じて分離感を感じているので、自我意識で生きている。形は有限、真実なるものは永遠・無限。外側で聞くと理解できない、混乱する。	N
A266	夫婦愛と親子愛	原因と結果の法則、陰陽の法則。 夫婦の愛は横の愛、+ - の交わり。 物は全て法則で存在している、無法ではない。 始めに神ありき、神から△ピラミッド状に陰陽の組み合わせで子孫が出来上がる。全ては神の子、『愛の絆』。 夫婦仲が良いことが、いい子供が生まれる条件。	K
A267	賢者と偶者 ★	生命を実感、神意識になり切ること。 自我で生きている時は、今私は夢か?と考えたことがあるか。 自我の世界は夢の世界、現象の世界。 厳しいようだけれど、努力すればそれほど厳しいものでもない。 厳しいと言う人には厳しいが、簡単だと言う人には簡単。 途中下車しないで下さい。	O
A268 '2020	時空意識の克服 ◆ 1991.12.23	時間・空間は本来、存在しない。無限・普遍があるのみ。 一つのものしかないから生命は数えられない。数字はない、無数。 普遍的自分になったとき、時間・空間・時空意識はない。 千里眼=意識眼。意識の眼には時空間がない、方向性がない。	
A269 '2020	靈的結婚と肉的結婚の識別 ◆	靈と水の結婚が神との結魂、地上界の結婚は肉的結婚。 結魂をしていたら中性・愛の人（愛人）。 エネルギーと質料のパーセンテージが人間のみが50% + 50%。 処女懷妊とは、始めから靈と水の結魂者だったということ。 愛人と恋人の違い。進化論について。	
A270 '2020	眞の結婚とは何か ◆	自我結婚は肉の結婚。靈的結婚とは肉体と靈との結婚。 大靈との一体感が眞の結魂。これが最後の仕上げ。結魂したとき変貌する、変容する。聖者方が結婚しないのは中性になってるから。 本質においては既に結婚している、結婚していないと思ってるだけ。 + - は引っ付き合う、その中性が愛。中性になると結婚できない。 そのとき至福感・法悦感。	
A271 '2020	生命は天照大神 ◆	天照大神は靈太陽を意味している。日出る国、日本。 今世界は靈的に動き始めている。日本から日が昇ろうとしている。 東側は靈主義。西側は物質主義。天皇=王の中の王。 開放者はただ一人、自分自身。 ものは太陽を中心回る。魂約=魂の約束。	
A272 '2020	人間の本質は靈と水 何ぜ ◆	人間は水素と酸素の仮の姿。皆さんの体内は、形という一個の個体があるのではない。形は無数の微生物で存在している。 血や肉を作っているのはあなたの働きでなく微生物の働き。 その微生物は好気性 (+陽) と、嫌気性 (-陰) がある。	K
A273	大生命と分生命は一体 何ぜ ★	一人一人の人間は葡萄の木の枝葉のようなもの、樹液（生命）に繋がらないでは生きられない。 完全に五感を支配していかねばならない、直感でもって。 受け入れたら完全になる、肉体は死の波動から完全波動に変貌する。	M

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A274	内は靈 外は物質 何ぜ	雑念を捨てるとは人間、肉体、個人という外念を捨てること。生かしているのは靈。靈が物を見る、肉眼はない。肉体に声は無い、言葉は靈に属するもの。 修行して靈になるのでなく、もともと靈、未来永劫に靈。	
A275	生命と肉体	原因が結果を生む、神が神を生む。 あなた自身が原因結果の法則、陰陽の法則そのもの。 自我は貰うことを、神我は与えることを喜ぶ。女性は愛されたい、男性は愛したい、そこに原理が働いてる。完全バランスを取れば中性。	
A276	本心と偽心の識別	本心は変化しない不動心、内なる心。偽心は上辺の心。 心を外においているから動搖する。神人とは神で出来た人間。 皆さんの祈りは積極的祈りか、消極的祈りなのか？ ものの見方は積極的か消極的か？ 偽心はいつ心変わりするか分からない、昨日の友は今日の敵。	
A277	生命とは何か 肉体とは何か（誘導瞑想）	生命は表現者、肉体は媒体。アンバランスで存在している物は世の中に一つもない、バランスを崩せば崩壊だから存在できない。 あなたの体は車のバッテリーのようなもの、チャージすれば良い。 運命とはエネルギーの運び方、使い方。作用/反作用の法則。	O
A278	愛光	真理の実践とは愛の実践、光の実践であることを忘れないこと。 どんな迫害を受けても絶対愛を貫き通す。1日、1日が愛の実践。 光と闇の戦い。不調和と同調してはならない。	O
A279	究極神とは何か	知らねばならない極面は神の極面。真理そのものが究極神。 何あるが故に人間が存在するか、まず考えねばならない。 あなたに普遍的智慧と力が存在しているが、持っていると思わないから働きようがない、現れようがない。認めた者は現れる、信ずる者は現れる。内なるものの探求。正しく見るができないと、正思・正語・正しく生きる・正しい生活もできない。正しい定めにも入らない。	B O
A280	空は高次元 色は低次元 何ぜ（誘導瞑想）	次元を高めねばならない。（誘導瞑想4回） 物質だと思っていて物質以上の波動は出せない、一つの波動でいきましょう。空だと想うは天啓、物質だと想うは暗示。誰が暗示をかけたのか？肉の目を閉ざした瞬間、見える物がなくなる。	B
A281	人と神は不可分 何ぜ（誘導瞑想）★	利己的にならぬよう注意しなさい。神は全体主義、全体者。 物質界というベールがあなたを妨げて本物を見せないようにしてます。自分自身の内なる本物の靈気を感じないものが、どうして外からの靈気を感じるのか？靈気は内からくる。本心から語る、本音で語る。 初めは解らなくとも、聞いてるうちに何となく解るようになる。	
A282	大愛は全ての本質 何ぜ（誘導瞑想）★	愛は言葉や文字では言い表せない、心の目でしか見えない。 頭で考えることは外念、雑念、浅い信仰。深い信仰とは深く知ること。全てに愛を見、愛を感じるのは、肉眼・頭では絶対にダメ。 頭で考えれば考えるほど混乱する、理解できないから苦しむだけ。	B P
A283	魂とは何か	宇宙には寛大な魂しかない、魂のみが息をしている。魂が迷っているのではなく、魂に迷っている。 肉体を中心にして考えているのを自己中心、利己的、個人主義。 今生何%発芽するか、誰もわからない。	
A284	空とは何か 色とは何か	始めに空がある、色は空から離れられない。気体と固体は異ならない。水には見える水と見えない水がある。水分子は無限。宇宙には無限の水分子と無限の靈的エネルギーがあるだけ。あなたは無鉄砲に生まれて来たのではなく、法則に基づいて生まれて来た。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A285	靈は原因体 物質は結果体 何ぜ (誘導瞑想)	ものには原因があって結果がある。空は真理、創造の大原理。原因追求と真理の追求は同じ。人間という思いが雑念。人間という先入観をなくす為には、忍耐強く本物を見つめ続ける。ここで刺激されて靈的自覚が高まる。悟りとは一枚一枚。	
A286	大靈は真実の自分 肉体は偽りの自分 何ぜ (誘導瞑想)	嘘をつくことをやめない限り、嘘の罪から解放されることはない。肉体を自分と思った瞬間、迷い。肉体を自分だと思っていては、肉体解脱は不可能。闇は闇しか語れない、光は光しか語れない。瞑想は形に捉われなくてよい。寝そべっててもいい。	A
A287	心とは何か	心は生命・意識・中心・宇宙に一つ。 外を意識すれば粗雑な波動。神意識は神の波動。この世のものに揺れ動かない心を持っているならば、直流型・神我の波動。 神の心臓と自分の心臓を一体となって鼓動さしめよ。そのとき、闇の原子が光の原子に変容を遂げる。	D J O
A288	靈とは何か 物質とは何か (誘導瞑想)	始めに靈があった、物質は靈によって成れり。 見える物の話は仮相の話、実際に無い話。今、実在の話をしてるか、実際に無い物の話をしてるか、話す時は識別をしたらどうか? 実在と非実在の識別。これをあなたの意識の中で確立すれば見える物の影響は受けない。大靈のあなたから仮相のあなたを見るべき。	
A289	靈は光 物質は闇 何ぜ (誘導瞑想)	本物のあなたが偽物のあなたを凝視できたら、上から下を見ている。コウモリは光の世界では物が見えないように、闇に慣れた人間が急に光は見れない。常に靈的光への一心集中をすることによって、徐々に光を見慣れていき、実際に光が見えるようになってくる。 あなた方も内観・瞑想をしないでは光を見ることはできない。 もっと闇の世界から解放されて、もっと一心集中を行って欲しい。	A
A290	本質は神 形は人間 何ぜ	人間を見るのでなく人間の本質を見る。 見るべきことは、知るべきことは、形ではなく本質。 今生でこれを掴むことは一番重要な問題、最大の目的。 何ぜ現れないのか?本質という神を認めてないから。 三つ子の魂百才まで。子供のようでなくては天に帰れない。	
A291	気体は天 個体は地 何ぜ ★	人間だと見ている限り絶対に悟れない。人間の本質は空、大気。 類は類を呼ぶ。皆さんはまだ天の覗き見をしている段階。 ダムの水は溶存酸素が0、できるだけ溶存酸素の多い水を飲むこと。 鼻から脳へ、口から体内へ酸素を吸う。※酸素濃縮器の説明。	G J
A292	天と地の識別	天と地が分離した状態を不完全と言う。 今は天と地の分離感を持っている。あなたの肉体とエネルギー・質料の境目はない。原因を受け入れた時の不完全は消える。 悟ったら原因と結果が一体であると示す。 ※知花先生は一日のうち7~8時間は普遍意識状態でいる。	
A293	光と影は不可分 何ぜ (誘導瞑想)	一なる光が様々な影を生み出している。この世は現映の世界。 光から影の世界を覗く。光は影の影響を受けない、光に影が入り込むことは無い。影の世界に居る者が影の影響を受ける。 悟りと仕事は関係がない。 他人に聞くのではなく自問自答すること。鵜呑みして、考えもしないで急げていては自分のものにすることはできない。	
A294	天と地は不可分 何ぜ	まず、自分が大気だという前提で物を見てください。 外念に沈黙を守らせない限り、憶念は湧いてこない。 天啓を受ける方法は大気への一心集中のみ。神は計り知れない。 皆さんは覺者になる特権がある。光が現れたら闇の勢力も立ち上がる。伝導瞑想とは。心の教育と母の愛について。	A

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A295 '2021	本質は実相の自分 形体は仮相の自分 何ぜ	個人的本質は無い。本質は無限大。宇宙に本質は一つしかない。悟るのに学問、年齢、性別は一切関係ない。学問は悟りの妨げ。神に素直あれとは仮相に素直ではなく本質に素直あれ。正しく見る・正しく思う・正しく生きる→神が着座する。今は迷いが定着している。真実を語ることで地球は一変する。相対性理論。	
A296 '2021	解脱とは何か ◆★	正しく見る・正しく思う・正しく語る。思い一つ。あなたと私の違いは肉だと思うか、大生命だと思うかだけの違い。無限なる力を認めてないから使えない、あなたが否定している。あなたの智慧ではない、あなたが使っているのは知識。議論は自己主張。見える世界で頭が一杯だが、それが全て停止したとき沈黙。	B
A297 '2021	仏陀とは何か ◆★	自分に打ち勝たねばならない。自分が無くなったとき勝利。あなたを迷わせているのは、あなた自身。内的自覚・靈的自覚は、強い信念と力でもって為さねばならない。認めるものは、信ずるものは現れる。まだまだ浅い信仰。私は内側から語るから、内側の物差しで聴かないと理解できない。	
A298 '2021	求めよさらば与えられん ◆★	求め方に忍耐がない。本当に求めているか、上辯ではないか？神への一心集中とは神のみを思い考えること、これが非常に大切。靈一元を体験しないのは求め方が少ない。24時間でどれくらい内側に意識を向けているのか。ここで話を聴いてる時は強制的に瞑想してる状態。三つ子が母を想うが如し、私は仕事中でも一日100回は神を意識している。皆さんは真実ではなく、物を求めているのではないか。	
A299 '2021	悟り ◆★	神を悟るとは、信じるとは、知ること。徹底して知るべきは自己追求。瞑想を通して自分との戦い、追求。あなた方は努力してない。どんどん追求していくと、全ての答えがあなたのものとなる。努力に応じて、神の祝福と御加護を得るであろう。	
A300	カルマの克服	カルマの克服とは自我の克服。自我は無知、悪。神我は悪いことはしない。イエスは『真理を知らぬことが最大の罪である』と言った。実在しないものを実在と思っているのがカルマ、それが解れば刈り取りができる。原子と電子の立体映画を見ているようなもの。完全瞑想とは。神のみを思えば、神のみが浮かんでくる。	
A301	神眼を開くとは何か（誘導瞑想）	神の他に何も知ってはならない、神の他に何もない。今、開眼できる。内観する以外にない、内観を通してしか神を見れない。我人間なりは外念・雜念。最終段階に入っている、あと少し。	
A302	不可視と可視は一体	人間の中に存在する質料と空の中に存在する質料は同じもの。不可視の質料の、一個一個の細胞で人間は出来ている。形を見るから個人意識を持つ。無限しか存在しないということ、無限的ビジョンを持たねばならない。	
A303	微生物と人間 ★	昔は天水ほど美味しいものはなかった。今は農薬で大気や土を汚して、地下水・天水を飲めなくした。一体、何を飲んで生きるのか？人間の体も土も空気も全て微生物。体を造って、農業をしているのは微生物=妖精達。それを化学物質・カルキ・農薬で殺している。空気中からも微生物を吸っている、菌体バランスが大事。	H I
A304	光は天 影は地 何ぜ	光は原因体、影はその結果。 今からの時代は知識の時代でなく、智慧の時代。 知識は五感的・外念。智慧は直感的・憶念。 智慧は学ばなくとも解る、天才・叡智・仏智・頭光。 光への一心集注が神への一心集注。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A305	無限は天 個人は地 何ぜ (誘導瞑想)	皆さんは形の世界に翻弄されている、もともと無限。 頭で考えているのは感情的、頭で解ったようになって離れて行く。 知識ではなく実感が大切。 迷いを無くすには個人という思いを徹底して漬していくこと。 真のマントラとは『我無限なり、我神なり。』意味の解らないことを ブツブツ唱えることではない。	
A306	可視と不可視は同一	実在とは永遠、久遠、実際にいるもの、真理。 人間とは何か？人間は存在しないから答えは出せない。 実在しているのは靈。無いものがあると信じ込んでいる。 自分を肉だと見ていたら肉眼、靈体だと思っていたら靈眼。	
A307	本質は実相の自分 形体は仮相の自分 何ぜ	実相を見る者は実相を受け継ぐ。本質を知ることは己を知ること。 今ここで目の治療を受けている。真理は何回もの繰り返しで得ることができる。悟りとは一段一段、一皮一皮である。 内観は観光、外観は観闇している。外を見ていて、光を受け継ぐことはできない。意識はエネルギーの増幅器。	B
A308	愛は光の自分 肉体は陰の自分 何ぜ (誘導瞑想)	愛という光を見ている時は明想、物質という陰を見ている時は迷走。 環境保全とは陰の話、私の言うのは宇宙環境・愛の環境のこと。 肉体という陰は光の表現体、粗末にしてはならないがほどほどに。 今生私に巡り合わなければ、光の王国に帰ることはできるのか。 先に帰って待ってますから、話を聞いてる人はみんな帰ってほしい。	
A309	瞑想とは何か ★	瞑想する場所、時間は決まっていない。 瞑想が本当にできる人はもう悟っている。人間だ個人だと思っている人に瞑想をすることは不可能。光を自分のものとするには内観・瞑想をし続けなければならない。本当の瞑想をやりましょう！ 悟りとは、光の自分と陰の自分を識別すること。	A (A)
A310	生命は光の自分 肉体は影の自分 何ぜ (誘導瞑想)	不動明王=永遠に光通しの生命。文殊菩薩=智慧の象徴。 光に向かうか闇に向かうか、幕が二つに分かれる。 光を急激に得ることはできない、やろうとすれば焦って苦しむだけ。 まだ光を見つめる視力はない。光に慣れている度合いによって光が見える。日常茶飯事、光の凝視の訓練をする。光への一心集注が明想。	A N
A311	本質は内界 形は外界 何ぜ (誘導瞑想)	原因次元で物を見ないで、結果次元で形を見ている。 形ではなく本質に反応すべき。現実と真実、どちらが本物か？真実の話をすべき。人間という前提で語る言葉で、一つも真実はない。 「嘘のあなたは嘘しかつけない。真実のあなたは真実しか語れない」お釈迦様は内観ができない人を弟子にしなかった。	O
A312	大気は天 固体は地 何ぜ	気体のバイブルーションを下げれば物質化、上げれば非物質化。 波動が高いか、低いか、これだけ。これは当たり前の法則であって、奇跡ではない。固体になると比重が重たくなって、重さがある。 イエス・キリストが海の上を歩かれたというのは、液体よりも自分のバイブルーションを上げるとそれを支配してしまう。	K
A313	大気は天 個体は地 何ぜ (誘導瞑想)	ミクロは、原子と電子は『創造の原理』、神理は見えない。 見えないものが様々な形に化けてる。人間は化物。見える物は物理。外側の物質、固体の話しかできない人間からは少しは遠ざかるべき。 偽物の話は暗示、本物の話は啓示・天啓。どちらが欲しいか、長い物には巻かれる。外を見る時間よりも、内を見る時間を多くとること。	A

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A314	光とは何か 影とは何か（誘導瞑想）	この世の物質の話は影・幻の話。光の話は真実の話。 闇・黄泉の世から光の王国に帰ることを黄泉がえり・復活と言う。 キリスト神我に栄光あれと。光への一心集注を今晚行えば、おそらく素晴らしい体験をするだろう。光が現れれば、病という影は消える。 それが癒しの力、光。影は光の操り人形。	
A315	無形は無限 有形は有限 何ぜ	形の無いものは無限、形のあるものは有限。 空は無限、姿形が無い。無形無双、不死不滅。不老寿、無量寿。 もうこれ以上、科学は進まない。有限をいじくりまわしても無限を得ることはできない。人間という檻を今外すべき。	
A316	宇宙エネルギーとは何か	宇宙エネルギーが眞のあなた、偉大な力。自分がエネルギーであるなら、どこに求めるのか。宇宙エネルギーはみんなのもの、共存共栄。 所有物・所有欲があるから、なかなか無限に返さない。個人は小さいのに迷妄は強い。個人相談は受けないが、無限の相談なら受けます。	P
A317	靈界は実在界 物質界は仮相世界 何ぜ（誘導瞑想）	靈は気体＝靈体。固体は気体から出て、気体に帰ることに定まっている。ミクロ粒子が無ければ、形は存在しない。空海とは天海。 ここでは大靈で、家では人間ではダメ。軽く目を瞑り『自分は大靈』だと意識を起こす。誕生とは物質化現象、死ぬことは非物質化現象。	A
A318	靈は男性原理（陽性） 物質は女性原理原則	陰陽の法則とは中性・愛。見える物と見えない物の大バランス。 自己発見とは見えない無限大の我を発見する、自己確立すること。 意味の解らないお経は死人の為にあるのではなく理解する為にある。 色即是空・空即是色、二つの次元ではなく原因と結果の両面ある。	
A319	直感と五官の識別 ★	直感はビジョン・天啓。内からの敏感、閃き。五官は鈍感、外から見て、聞いて解る。誰でも直感を受けているが見逃している。 直感能力が優れた人は予言者。世界の動きが解り、アカシックレコードが読める。何万年先までインプットされてる。あなたのうちに宇宙はある、宇宙エネルギーは内から得るもの。光も智慧も内からくる。	O
A320	生物	我々は生きた物（生物）、動く物（動物）、靈と水がMIXされた物。 靈+質料=中性子。『不可視の質料と、可視の質料が一体である』と言することで、質料を振動させることができる。エーテルの振動。 何ぞうなのか、自分で答えを見出すこと。鵜呑みでは何の意味もない。その為に瞑想しているのではないですか？	
A321	本質は天 形体は地 何ぜ（誘導瞑想）	形の世界で見ると他人を感じるが、本質の世界には他人がない。 一番の混乱は形と本質の識別。本質の世界には大変・破壊・死という言葉はない。人の道から外れても、神の道から外れてはならない。 仮相の話しかできない者からは遠ざかるべき。自分の内に質問する。	
A322 '2022	地球 ★	地球は丸い=回転している。惑星は球体、循環の法則。 ○=無限=ゼロ。人間のオーラも球体で外部の侵害から守られている。オーラには色がある。水も空気も宇宙も全ては循環している。 人類はUFOで別の惑星から行き来していた。地球は外宇宙から見ると、まだ住めない火の玉に見える。月にも人類は住んでいる。	
A323 '2022	波動とは何か ★	波動が低いと植物は成長が遅い。波動=靈氣=意識を高める。 物は全て中性、陰陽のバランス。人間は+とーのバッテリー。 高度の物質文明が栄えると地球は滅びる。パイシス（闘争・競争）からアクエリアス（統合）へ、物質主義者と靈主義者の二つに分かれ る。これが最後の審判。今からは靈的文明・精神文明が発達する。	L M

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A324 '2022	宇宙意識と個人意識の識別	宇宙意識とは宇宙は意識体であり、一体感になると意識が読める。今人類の二つのビジョン、悲惨な物と素晴らしい物がある。このまま行くと一面が勝利するが、個人意識から宇宙意識へ意識革命を起こして青図面を変えられる。皆さんに地球再生の一役買ってもらいたい。山・海・動物 全てに意識があり、噴火するのに待てもかけられる。	K M N
A325 '2022	瞑想 ★	瞑想が解らないと自我瞑想になり危険。眞の瞑想なら危険はない。瞑想は神を意識すること、自己を見つめること。神との一体感、一心集中。瞑想であれこれ考えることは雑念。瞑想を間違うと気が狂ったり、憑依霊を受ける。瞑想中に啓示を受けたという人は自己メッセージ。瞑想は空無の状態ではなく意識の拡大した状態。	A (A) O
A326 '2022	本質は実相の自分 形体は仮相の自分 何ぜ (誘導瞑想)	今ここで一時間 話を聞いたのではなく明想をした、天啓を受けた。あなたが一人で目を瞑っても、これ以上の明想は今は不可能。私は本質から得た智慧を与えていただけ。ここまで誘導してきた、後は皆さんの意志次第。あなたはキリストか?と問われたらノーと言うか、イエスと言うか。答えは『イエス・キリスト』。	
A327	人間とは何か	人間はなぜ神であるか。人間は宇宙のエネルギーと質料の複合体。エネルギー×質料の複合された物が万象万物を投影・投射している。学ぶべきは、あなた自身。内は究極・永遠なるもの、外は無常。今人間は質料という物質に溺れているので、水の洗礼を受ける。大洪水が起ころうかもしれない。これは世界的なもの。	M
A328	直感と五官	直感は神我・内から来るもの。五官は自我・外から来るもの。賢者の言葉は幸いをもたらし、五官的言葉は姦しいシンバル、災い。神に委ねるとは直感に委ねる。女性は子供を生むでの直感的、母性愛がある。愛に満たされた時、直感は働く。科学的に言うと靈はビッグバン・聖なる火。神我意識はアカシックレコードで体は智慧の媒体。	K N
A329	靈と物質は不可分 何ぜ (誘導瞑想)	魂は宇宙に一つ、寛大な魂。靈という光が物質に宿っている。物質は吸引、靈は放射。皆さんは「私は肉だ」と嘘をついているが、肉体は大靈の衣装・器である。靈は原子、物質は電子、見えないもの。即時に目を瞑り、見えないものを見ることができる。	
A330	大靈と肉体は不可分 何ぜ	人間は大靈の住み家。もともと処女懷妊、性行為は魂の住み家を造る。誕生はガブリエル、死はラファエル、愛はミカエル、光の象徴。オーバシャドーには直接と間接がある。病気を治す技術より、病気にならない技術が大切。あなた自身が大靈との一体感を受けて、普遍的な話を多くの人に伝えることが使命。今日復活しましょう。	N
A331	宇宙意識は悟り 個人意識は迷い	正しく思うとは自分は無限と思う、私は無限だと『大宣言』する。あなたの愛は腐った愛。憎しみや怒りは神・愛への反逆行為。神は原子と電子の中性。宇宙波動で常温の元素転換を行うのは簡単、意識革命を起こすべき。神理学者は科学者。地球は宗教戦争で何回も滅びてきた。神我に目覚めたら、毎日が希望と喜び。	
A332	靈眼と肉眼の識別	元を正せば一つの根源靈。靈眼が開かれると自分を靈だと見る、一つ目、全体は一つ。肉眼には自他があり、自分を個人だと見てる。靈は全ての中に輝く光。肉の中に天照大神が住む、理解力で心の扉を開く。肉のまま生きると消滅、だらしない人は肉に負っている。物質主義者は死ぬと闇地獄を体験する。人類が開眼すると戦争は終わる。	
A333	内は実在界 外は非実在界	見えないもの（エネルギーと質料）は永遠、見えるもの（形）は無常。ミクロが分子結合して様々な形、見える物となる。人と神は裏表、外を見れば確かに人間、内を見ると確かに神。様々な形を見るのではない、内を見ればただ一つ。断食や修行でエネルギーと質料になるのではなく、そのままにして神。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A334	大気は本物の自分 固体は仮相の自分 何ぜ (誘導瞑想)	固体の本質は即大気。人間一人一人の本質は大気。我は物質人間と思った瞬間、波動は低くなる。波動を高めなさい。生きてるのは大気のみ、「我は大気なり」。「私は人間」と言ったら嘘つきとなる。もうそろそろ、大気に帰りましょう。靈界・幽界・物質界は同じ所に存在する。大気と思った瞬間 悟り、人間と思った瞬間 迷い。	
A335	エーテル界 物質界	エーテルとは精妙、物質は粗雑という意味。メンタル=靈体・精心、アストラル=幽体・感情、物質=肉体・感覚。 エーテルエネルギーや物質エネルギーはない、唯一不二のエネルギーがあるのみ。物質エネルギーとは物質は即エネルギーということ。 日本の文字を一つ一つ解説し理解していく。	
A336	靈は実相世界 物質は仮相世界 何ぜ (誘導瞑想) ★	物質を崇拜するのは偶像崇拜。自分を人間と言うのは愚者、我は靈なりは聖者・賢者。マクロはミクロの固まつた物、粒子論。原子と電子はコスモ細胞。原子核が電子を動かして、誘導電子。+がなければ-は役に立たない。流れてる物があるのは、流してる物がある。 物質化現象と常温の元素転換について。不可能と思うから不可能。	K
A337	調和とは何か ★	神は大調和・大愛。物は全て調和で存在する。調和とは自分で、全て。エネルギーと質料の調和は健康、不調和は死。隣人との調和だけでなく、あなたの調和をとることが大事。愛は最高の癒しの力。 不調和の世には病気が増える。神道=愛の道から外れると苦しみ。皆さんは風当たりが弱いのに、耐えられないなら相当意志力が弱い。	J O
A338	愛は無形無双の大靈 何ぜ	愛は見えない。本質的なエネルギーと質料は見えないが、結果の形は見える。無視の境地とは見えない境地、無限は見えない。 偽物を見るから影響を受ける。見える物がないとは言ってない、実在ではないということ。光から影を見ること。内なる光・愛を見ることが明想。闇を浄化するのは光しかない。靈界には結婚生活はない。	
A339	物質は存在しない 何ぜ ★	物質界と靈界が別々に存在するというのは二つ目、二元論。 靈一元というのは見える物と見えない物は同じということ。コップとガラスは同じ物、氷と水は同じ質料。形をとった原質と形をとらない原質は同じ、境界はない。これが色心不二。所有欲があるから境界線を引きたがる。色と空が一つになれば無限となる。	N
A340	人生は夢物語 ★	寝ている時は起きてる、起きてる時は寝ている。人生とは夢の世界、永遠からすれば一瞬の出来事。今 夢の中でこういう話を聞いている。三次元的な夢を見る人は自我の強い人で、浅い眠り。深い眠りは夢を見ない。靈の夢・神の夢を見るのは正夢で、覚めた状態。 神我は眠らない。この世が夢／ドラマだと解ると苦しまない。	K N O
A341	大靈は神理 物質は被造物 何ぜ (誘導瞑想)	物質が物質を生むことはない。大靈が物質を造り 大靈が物質の中に宿る。大靈が守護靈・守護神である。物質に落ちることが地獄に落ちる。大靈と思うか、人間と思うか。人間だと思い違いをしてる。 大靈から語る言葉は真実。靈的ビジョンとは今即大靈の自覚。神理は単純、当たり前。先祖供養は必要か？人間という枠を作ると囚人。	
A342	人間即大靈 大靈即人間	自分を姿形だと思うから、動く範囲が制限される。 普遍的大靈を意識すると至る所に動き回れる。肉の感化の今まで幽界に帰ると動く範囲が決まっているが、意識的なテレポートができると死後の世界では自在に動き回れる。私はここにおるという感覚がなくなって、大靈そのものとなると瞬間移動ができる。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A343	靈は陽の自分 肉体は陰の自分 何ぜ ★	陰ーと陽+は絶対離れられない。物は陰陽のバランスで存在する、だから愛。愛は万物の造り主。物の中心核は原子という光、その周囲に電子が何個つかで決まる。肉体は光の媒体・放射体。 物質は吸引、光は放射。形を見たら有限・有形、無形を見たら無限。これからは無形の世界から物を取り出す時代、無限供給が行われる。	K
A344	魂と肉体の関係 ★	肉体は魂の衣装・器であり、陰子と陽子の性交で出来る。魂は靈と水の中性子・原始細胞。始めからあるもの、光輝くもの・水晶人間。 魂の陰陽は宇宙法則、肉体の陰陽は自然法則。 いつ肉体に魂が宿るかは決まってない。食べ物は肉体細胞を造る要素で、赤ちゃんはお臍を通じて栄養分を吸収し、お母さんの呼吸器官を使う。魂が入ると魂が息する。全体としての魂が群魂=大靈。	E N
A345	宇宙は微生物の集合体 ★	全ては小さな生き物の団体で構成されている。身体～地球～太陽系～銀河系惑星まで、お互い助け合い仲良く集団生活している『共存』。 微生物バランスを崩すと病気。集団生活のできない利己主義者はガンになる。愛の深い人は団体生活ができるが、不調和の者は仲良くできない。集団生活のできない者は排除されていく。	J K
A346	心は無形無双の宇宙エネルギー	心はエネルギー、中心・内に心がある。肉体は心の操り人形。 本心は全宇宙に満ち満ちている、この世は心の反映。宇宙エネルギーが宇宙の心。宇宙に心はたった一つ、御心。心=想念のコントロールが必要。私は個人と思ったら偽心、自分を固体と思ったら頑固者。 『不老心』とは、心は年をとらないという意味。 不動心というのは間違い、心は動くもの。心はエネルギーの変換器。	D
A347	智慧=直感（心）智識=五官（頭）	智慧は心で考える、智識は頭で考えるもの。智識が多すぎると悟りは不可能。常に頭が空っぽの状態が沈黙。何も考えていない時に天啓的イメージが湧いてくる。智慧は内から出てくるもので、巨大な智慧・力・説得力がある。智識は外部から得るもの。教育は本来、内から受ける。頭でゴチャゴチャ考えないこと、気を使いすぎないこと。	
A348	因果の法則	原因と結果は一体。今は原因を無視して、結果だけに生きている。外なる話は結果論、内なる話は原因論。因果の法則を犯す者は罪人。罪なき者は原因・結果を一体ならしめた人で、天地一体観。 原因と結果を分離して考えると不調和。相対的ではなく、対立していない。いつでも天の父の家に入ることができる『親愛』によって。	O
A349 '2023	真の明想とは ★	生命を見るのが明想、外を見るのは迷走。生命は全世界を照らす光。その光・宇宙生命への一心集中が明想。発達すると想像を絶する光が見えるようになる、光子体になる。正しい明想をしないと外念・雑念に集中して、それが増幅して気が狂う。遊び半分は危険。 水の洗霊は行水、火の洗霊は内的清めで光のシャワーを受けること。霊服とは光の服。光と水のバランスが水晶人間。	A
A350 '2023	キリストとは何か（誘導瞑想）	愛のキリストと慈悲の仏陀は同じこと。人間信者はサタン信仰。 本質はキリスト、唯一の愛・神の教えがあるだけ。 八正道が悟りの物差し『正しく見る』から始めること。まず人間から大愛に見直す。AINSHUTAINが物は全て愛だと証明した。 本当の自分、もう一人の自分を発見する。天皇は天の白い王・白光。大成祭、大きいものになる。愛の伝導はあなたから愛の波動を放つ。	

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A351 '2023	クリスマス研修会 ★	知花先生は五光（黄）土星から来たもの、人類は地球だけではない。靈的成長よって別の星へ移住する。金星は愛、土星は智慧で頂点。智慧は外から学ぶ必要がない。学校では外の結果の話しか教えない、原因を学ばねばならない。世の中や環境を変えるにはまず己が変わること。神我で行う政治、目覚めた人が教育すると世の中あっという間に変わる。皆さんにも各地域の講演会で、ご協力頂きたい。	O
A352 '2023	キリスト原理とは何か ★	能動と受動の内なる大原理・キリスト原理が、靈と水の愛の原理。内在のキリスト・神をエジプトやインドに、外に探してもいない。親子の愛、神と人との一体感が『親愛』、無限大の限りなき愛。不調和は苦しみ病、愛は喜び一元。隣人愛とは神を愛すること。真理の実践とは愛の一日を過ごすこと、不調和を行わないこと。	D N
A353 '2023	生命は本物の自分 肉体は偽物の自分	肉体は衣装・器。自分を人間と思ったら迷い、大生命が本当の自分。人間は、肉体と生命の複合体。みんな生命で繋がっている、あなたは私、私はあなた。イエスやお釈迦様との距離はない、そのことが解れば対面できる。全ては一つである。自分を愛するごとく他を愛する。生命を見ることが悟りの秘訣。まだまだ肉に負けてる自負して。人間という思いを捨て切れない限りは悟れない。	M
A354	大覚者とは何か	大きい我に目覚めた者で、ほとんど小さな我を自分だと思っている。鉱物・植物・動物・人間の表現を見て、私が私の物と言っているが嘘。実際に私と言うべきは『I am Spirit. 宇宙即我』。宇宙靈・大靈のみが生きている。植物の意識も人間の意識も同じで全て一つだと解れば、一人一人の気持ちは即解る、以心伝心。悟ると王冠と靈服をつける、これを魂の光輝。魂が靈的存在を認めた時、光るものとなる。	D
A355	自己開放とは何か	姿形という偽物の中に、無限の本物の自分を閉じ込めてる。いつまで偽物に固守するのか。開放すると普遍となり、無限自在となる。人生の最大の目的は解脱。自獄から開放するまでは、この世と幽界を循環する。私が刺激しないでも個人が普遍になれるのか？地球はまだ低い所、私は別の星から来た者。あなたもいつかは別の星に住む。	N
A356	真理と物理の識別	生命は真理・科学、質料は物理・化学。化学を科学と錯覚している。質料はどんな物にも化けるが、生命は変化しない。物を変化させるのは不可視の力。それが未知のエネルギー、フリーエネルギー。覚者方は科学者、常温の元素転換を行う。無量寿の世界に資源不足はあり得ない。悟ったら、初めて科学者となる。大乗祭・大成祭。	C O
A357	無限は天国 個人は地獄なぜ	天国は絶対実在、地獄は実在しない。人間がいると思い個人に生きれば地獄。無限に生きるは天国。意識が落ちると即地獄。現に今無限の中に生きている。修行して神になるのではなく、もともと神。この世は陰の世界、幽界は木陰の世界、靈界は光の世界。幽界はこの世よりも光があるが、どちらも地獄。自我は自ら作った我、自國。	
A358	愛に勝る力はない 何ぜ	夫婦愛・親子愛・隣人愛はまだまだ低い愛、愛情。無限生命と無限質料の大バランスが眞の愛。物は全てエネルギーと質料の愛で出来る。+ - 電極のバランスで力・光は出る。全ての本源本質・本性は大愛。不調和は病で無力、全ての癒し主は愛。眞の愛に目覚めたら精神的・肉体的・経済的にも苦しまない。協力者がいっぱい出てくる。	
A359	生命は愛 何ぜ ★	エネルギーと質料が調和されたものが大生命、それは中性だから愛。人間は中性質料で出来ている物。全宇宙に遍満する質料が凝縮して、陰と陽がミックスされた物である。皆さんと、空気中のエネルギーと質料との間に境目はない。あなたは宇宙に遍満する大愛・大生命。	M

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A360	天とは見えない物 地とは見える物 何ぜ	天に帰るとは見えない大空に帰る。見えない物は造り主、見える物は被造物。見えない物が全ての実質で普遍的、個人的ではない、破壊もできない。心を空にする方法は『我は空なり』と思うこと。空より語る言葉は御言葉。見えない世界に瞬時に入る方法は瞼を閉ざすこと。孫悟空は色々の物に化けるが、空が様々な形に化けている。	A K
A361	全ては自分の中におり 自分は全ての中におる	宇宙には無限生命があり、全ては無限生命の中におり、無限生命は全ての中におる。これが全一体観、正しく見る。あなたは私であり、私はあなたである。この答えを出し切ったら悟り、全ては同一の生命。他人がいると思うから悪口を言う。幸せとは争わないこと。神我は争わないから幸い、自我は争うから災い。姿形を自分と思い執着しているが、鏡に映るのは自分ではない、偽物。	N
A362	使命	肉体は神の御使い・天使・命の使い。主体は命で『肉命』ではなく『命名』と書く。日本の文字一つ一つが真理、ローマ字で書けない。命を愛する人は少ない、肉体を愛している。肉体は大事に洗うけど、命を『洗靈』してない。肉が生きてるという妄念を捨てる。外側から見れば複数、内側から見れば単数。あなた、私はない、これが内観。	
A363	神は無形無双の大靈	靈は靈太陽、水は龍宮の神。空の世界を大宇宙、色の世界を大自然と言う。肉体は自然体だから土に帰すべき。自然葬は畑や海にまく、これがお釈迦様の教え。お墓を作り祀るのは仏陀に対する裏切り行為。大靈は肉を纏っても大靈、抜ぎ捨てても大靈、永遠に変化しない。靈太陽は北、物欲が無いと南無。法の華が咲く、南無妙法蓮華経。	A' N
A364	神は無形無双 何ぜ	神に姿形は無い。映し出された姿形は現象・現象。神は無限の空間。見えない命がなければ見えるものは存在しない。これが色心不二。苦しみは本当の自分を見ない結果、全てが一つと見えた解消する。無双の境地とは一体観のこと。見えない物を観る。生命は眠らない、生命が眠ったら死ぬ。肉体は眠っても意識は別の世界に入る。	A' N
A365	無限	有限はない 全てが無限。無数・無時間・永遠がある。神は無限者、個人はない。神を見るとは無限を見る、本当の自分は無限という境地。第一（肉体）第二（幽体）第三（靈体）、靈体を見るのが第三の目。本来魂は死なず、迷わず、汚れない。迷いとはコップについたゴミ。人生は夢、永遠からすれば一瞬の出来事。夢で何と思われても平気。	O
A366	個人の本質は無限 何ぜ	あなたは個人という形か、無限という本質か。正しく見ると何を見ることか？人間を見ていたら絶対に悟れない、悟ったら無限。一人でも嫌いな人がいたら迷い。しかし急激に大調和であることは無理。急に成長するのは傲慢な人、人を非難したり見下すようになる。無限の表現をするのが神我顕現。無意識のうちに無限と思えて悟り。	N
A367	靈とは何か 物質とは何か ★	分子が結合すると物質、分解すると靈となる。分子分解には熱と振動がある。常温の元素転換は振動で行う。意識の高い人は体内で食べ物を完全消化し、色々の要素を作る。意識で物を作ることも消すことも可能、意識は創造原理。超意識の世界がミクロの世界。見えない小さなものを精靈達・微生物・万軍の靈・粒子群・有機質とも言う。	K L
A368	靈と肉体の関係	靈と肉は一体でありながら独立している、使命が違う。陰陽の法則、能動と受動。靈は智慧と力、肉は衣装。男と女の関係、女に目が眩んでいる。病気は靈肉のアンバランス。靈と肉を一体ならしめよ、大靈を受け入れると救われる。ポジとネガのバランスで中性・光が出るが、今は陰に偏り自負している。知識が智慧の現れを邪魔をする。	M

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A369	固体は気体の仮の姿何ぜ（誘導瞑想）	私達は固体観念があるが、実際には気体・大気・空である。人間は原子と電子の空で出来ている。ミクロは空海・天海。粒子がなくては形は存在できない。固体と気体を別と見るなら分離感。今「私は人間」という催眠術にかかっている。我大気なりは意識革命。私がやったと言うのは傲慢。バイブルーションの高め方は「我は大気なり」。	
A370	無限は実相の自分 個人は仮相の自分 なぜ	私達は始めから無限。形をとった個人を見て「私」と言うが、永遠にあるのは無限のみ。無我の境地とは、自分がない『無限の境地』。今まで何万転生もしてきたのは、何百万年も目覚めるのを期待して生まれ変わった。神はあなたの中にいるという話は今まで聞いたことがなく、初めて聞くはず。形の仮相の話をする者からは遠ざかるべき。	N
A371	智恵と知識の識別	知識は目・耳・鼻で外に反応するもの、智恵は天啓的・直感的・内から来るもの。知識が多いと智恵は出にくい。21世紀には今の知識は役に立たない。普遍意識になると誰の気持ちも読み取れる。 潜在意識のアカシックレコードを読むと予言者、『先見の目』を持つ。幽界のいたずらを受けて何月何日に大地震が起こるなどは偽りの予言者。陰に偏ると、天の水と地の水が一体となり世は水に溺れる。	
A372	変性の法則とは何か	自分は肉体という陰性から、自分は生命という陽性へ変わること。『私は肉に属する者ではない、我は靈なり』。変性すると変容する、その自覚に応じて光が出てくる。肉体から靈が抜けたら死体。皆さんもう土俵に上がっているが、降りるの？上がった以上は勝負せねばならない。みんなでがんばりましょう、励まし合えば簡単です。	
A373	宇宙の法則	無限大の+と-が一体となって物は存在する。+-0が中性。北は+ 南は-、東は+ 西は-。宇宙には愛の法則しかない。信仰とは神の理解力、無神論とは無知。陰性と陽性の交わりで人間が出来る。中心は動かず、偏らない、不動心。神は大宇宙の中心だから絶対に偏らない。天理と物理は表裏一体、それが色心不二。	
A374	内は大靈 外は人間	外を見れば人間、内を見ればどなたも靈。外を見れば犬・山・海…内を見れば大靈。内側は靈一元世界、外側は多次元世界。裏表を一つと見れば一つ目、正しく見てる。両面を見ないで、一側面に目が眩み、原因を見失っている。天と地の中性が我々。今、内側を顕現する勇気と自信のある方はここを離れてください。ふるいにかけられる。	
A375	死の克服	本来人間は死なないが死ぬという意識を持っている。生命は死なない。形を自分だと思ってる限りは再び形を作る。悟った人間は非人間的。悟りに一番欠かせないのは素直さ。形を自分だと固守してるから個人意識を作る。死んだら無・空になるとは姿形が無いという意味。あると思っていたあなたが無くなり、無いと思っていたあなたが現れる。	M O
A376 '2024	超能力とは何か	みんな大変な無限能力を持っているが、認めないから発揮できない。個人意識で萎縮してるから小さな智慧・力しか出せない。出し惜しみをしている。欲が深い割には欲がない、無限能力を閉ざしている。自己限定がなくなると解放・解脱。無限エネルギーを受け入れた時に得をする、個人と思ってる人は得がない。全ての根原はエネルギー。	
A377 '2024	心眼とは何か	あなたから出た波動は、あなたに跳ね返る、作用と半作用の法則。石を池に投げると輪を描いて放射して、何かにぶつかり戻って来る。広がるよりも跳ね返りはスピードが速い、大変な圧力がかかる。左巻き・右巻き、即ち渦電気。原理を使うと簡単にフリーエネルギーが作れる。その循環運動さえ抑えれば、やがてその時代は来る。	K N O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A378 '2024	自己を見つめる ★	今まで感じていた自分はいない、本来の自己は命。形で見ると他人を感じるが、命を見ると全体は私。真理は説明できない、言葉で刺激して理解力を高め、ビジョン・想像力で悟るしかない。 いずれ、内なる声で皆さんと私の魂の語り合いが行われ、言葉でなく無言の波動で導いて、テレパシーで通じ合う時が来る。誰か一人でもいいから、これをつかんで欲しいというのが私の切ない欲望。	A N O
A379 '2024	フリーエネルギーとは何か ★	フリーエネルギーの研究・開発とは神我の研究・開発である。 根源エネルギーが究極神。それを自由の生命・自由の女神とも言う、即ち自由自在のエネルギー。永久運動とは、永遠の生命のこと。 今は宗教家よりも科学者が神をよく理解している。エネルギーの追究は神の追究。ぜひ開発してください、費用はかかりません。	K
A380 '2024	人間の原点は神	神を人間の形をした人格神と思っているが、原点は不可視の大靈。 神は無形無双の大靈=大きなエネルギー。その結果として万象万物は存在する。イエス様もお釈迦様も、姿形ある物は全て偶像。 毎晩、寝ている時は靈の世界に行くが、目が覚めると外を意識する。 内側を意識してる時は内にいるし、外側を意識してる時は外にいる。 アンテカラナという意識の層を行き来しているだけ。	N
A381	無限は悟り 個人は迷い 何ぜ	実際にある物は何か？あなたは無限である。個人意識が地獄。 八正道の”正しく見る”から始めなさい。認めよ、さらば与えられん。 皆さんは勝手にここに来たと思っているが、選んだのは私。求めよ、さらば与えられん。私に捨てられないように気をつけなさい。 マイトレーヤとは神我のこと、キリストのこと。	
A382	無機物と有機物 ★	物質は 無機と有機の混合体、バランスで存在する。水と汚れは別物で、一体でありながら独立する。純水は軽くて不純物がない。 有機物を取りすぎると体は重くなり血液が汚れる。それが万病の元。 海水を電気分解すると有機物がたくさん出る。電気は至る所に存在して、純水からも取れる。汗は暑い時より寒い時の方が出ている。	H J K
A383	光は天 影は地 何ぜ（誘導瞑想）	影の本質は光、光は影の生みの親。光がなくてはTVや映画も映せない。鉱物・植物・動物・人間は全て影、映された物。影は光の媒体、操り人形。光と影は表裏一体、背後にある後光が照らしている。 夜明けは近し、愛という光が”不滅の光”。人間という前提で正しい判断はできない。いくら私の思いは正しいと言っても 正しくない。	
A384	正しい呼吸法	我々は息の子、空気を吸って生きている。プラナ・宇宙エネルギーを吸って、吐き出して、心臓が鼓動する。宇宙のエネルギーは全身から吸収して、全身から放流・放射されている。これを皮膚呼吸・全身呼吸と言う。神の息と 我が息は同じ息。それが神との一体感、安心感。 『実る瑞穂は頭が垂れる』。肉体は学生、内なる神我が先生。	
A385	天地一体とは何か（誘導瞑想）	実際にあるのは見えないミクロ、見える物はマクロ。天と地。 宇宙には原子細胞と電子細胞がある。細胞がなくて形は存在できない。情熱と言って、靈は熱エネルギーであり 光エネルギー。 靈肉一体ならしめる訓練をすると体が温かくなり細胞が活性化される = 『心身の神癒』。全細胞から光を放つとイルミネーション。	
A386	カルマの法則 ★	人生は過去世に犯した罪の刈り取り、心の結果。今ある環境そのものがカルマ。結婚・離婚・独身・騙される・迫害、全てカルマ。偶然はない。自分の心の影を見ている。騙されていいけど、騙してはならない。自分が発したものは必ず返る。カルマがある限り再び生まれる。この話を聞くのは良いカルマ。全て体験、苦しみの後に喜びがある。	N O

No.	タイトル	内 容	カテゴリ
A387	四六時中神を思う	寝ても覚めても無意識にも働いてる時でも神を思う。 神を意識してる時は神のバイプレーション、神を忘れて意識しない時はバイプレーションが下がる。常時 神意識で神が着座したら安全地帯に留められた。三つ子が母を思うが如し。大使方は大きい物の使い。	
A388	ミクロの時代	ミクロパワーとは究極のエネルギー。 物を粒子化すると界面活性する。今からはミクロの時代、靈的夜明け。今の科学ではミクロと言うけど、昔これをミロクと呼んだ。カルシウムには生きたカルシウムと死んだカルシウムがある。火に焼いたカルシウムは死んだカルシウムで、健康のために悪い。	G H J L

※これ以下の新しいリストは、随時 更新していきます。

また、誤字・脱字なども含めて 見直し、訂正していきます。